

I

2

E



取扱説明書 応 用 編^{11 Mbps ISDN無線ルータ} ■ LD-WL11/RT

第4部 専用線(64/128kbps)

第]章	回線と接続
第	2章	本体設定と管理7
第	3章	ネットワーク
第	4章	通信記録
第	5章	保存と記録
第	6章	専用線の設定例集35
付	録	設定画面の構成
	アナロ]グ設定>メニューは、専用線では設定できません。

第4部第1章



この章では、

設定ページの、<回線と接続>メニューで表示される画面について説明します。

1	「接続代記」画面	o
١.		<u> </u>
2.	「詳細設定]画面	··3
		~
	2-1. [接続]画面	3
	2-2. [WAN設定]画面	4
	2-3. [アドレス変換]画面	5
З.	[回線設定]画面	6

1. [接続状況]画面

	登録できる接続先は、1件だけです。					
<u>接続状況</u> • <u>詳細設定</u>	専用線(128kbps)接続状況					
<u>回線設定</u>			3	1/\/Л. (4)т		
①名称	通信している接続な なお、表示されるの	も(プロバイダーなど) Dは本製品に接続先と	の名称を表示します。 して登録されている名	称です。		
②発信元IPアドレス	通信しているパソ	コンのIPアドレスです	- 0			
③相手先IPアドレス	通信している接続が	も(プロバイダーなど)	のIPアドレスを表示し	ます。		
④状況	通信中は「発信」を	長示します。				

通信中の回線接続状況について表示します。

2. [詳細設定]画面

2-1. [接続]画面

接続状況画面に戻る <u>接続</u> <u>WAN設定</u> <u>アドレス変換</u> ON	2録 取消 ①(点②) 接続先名 ③ デフォルトGWを構築 ④ こしばむい でする ブライマリDNSサーバ ⑤ セカンダリDNSサーバ ⑥
①<登録>	この画面の設定内容を変更したとき、その内容を確定するボタンです。
②<取消>	この画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。 なお、一度<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。
③接続先名	接続する相手先名を、任意の英数字、半角31(全角15)文字以内で入 力します。 (入力例:elecom)
④デフォルトGWを構築	 LAN環境で発生したパケットのうち、宛先不明のパケットを送り出す 出口を意味し、この接続をその出口とするかしないかを選択します。 しない:パケットデータを送る先が支社など、閉じられた環境のと き選択します。 する:パケットデータを送る先がインターネットなどグローバル な環境のとき選択します。(出荷時の設定)
⑤プライマリDNSサーバ	接続先からDNSサーバのアドレスが2つ指定されている場合は、どち らか一方、または指定されているプライマリDNSアドレスを入力しま す。 (入力例:123.114.101.34)
⑥セカンダリDNSサーバ ·······	接続先からDNSサーバのアドレスが2つ指定されている場合は、どち らか一方、または指定されているセカンダリDNSアドレスを入力しま す。 (入力例:123.114.151.64) ※相手先が、IPCP(DNSアドレス送信)に対応している場合は、回線 接続時にDNSアドレスを自動取得できますので、⑤、⑥の設定は不 要です。

2-2. [WAN設定]画面

<u>接続状況画面に戻る</u> 接続 WAN設定 <u>アドレス変換</u> ON	
①<登録>	この画面の設定内容を変更したとき、その内容を確定するボタンです。
②<取消>	この画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。 なお、一度<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。
③本体のWAN側	IPアドレス/サブネットマスク 自分のWAN側のIPアドレスとサブネットマスクを設定します。 ※接続先がIPCPに対応している場合(プロバイダーなど)は、設定の必 要がありません。
④Numberedで使用	通信対象となる相手先ルータがUnnumberedに対応しない場合など、 LAN側とWAN側に異なるIPアドレスを設定するとき使用します。 ※使用するときは、「③本体WAN側」のIPアドレスとサブネットマス ク、「⑤相手のWAN側」のIPアドレスを入力してください。
⑤相手のWAN側 ······	IPアドレス Numbered接続をする場合には、ここに自己WAN側IPアドレスを入 力する必要があります。 ※接続先がIPCPに対応している場合(プロバイダーなど)は、設定の必 要がありません。

2-3. [アドレス変換]画面

接続状況画面に戻る 接続 WAN設定	
<u>アドレス変換</u> 01	アドレス変換 ③ Cしない ©する マスカレード ④ 本体WAN側Pを使用する
	 登録の追加 2000 2000
	グローバルIP - ローカルIP - 1000000000000000000000000000000000000
	現在の登録
	グローバルIP – ローカルIP
①<登録>	この画面の設定内容を変更したとき、その内容を確定するボタンです。
②< 取消 > ······	この画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。 なお、一度<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。
③アドレス変換	NAT、IPマスカレード機能を使用して、グローバルアドレスをプライ ベートアドレスに変換するかしないかを選択します。
④マスカレードIPアドレス	IPCPによってプロバイダーから取得したIPアドレスをマスカレード IPアドレスとして使用しますので、入力は不要です。
⑤静的マスカレード	マスカレードIP(ルータグローバルIP)に対して、アクセスしてきたパ ケットをプロトコルにより判定し、ここで指定したプライベートIPア ドレスを割り当てたローカル端末へアドレス変換します。 最大32個のマスカレードテーブルを設定できます。 •ローカルIP:プライベートIPアドレスを入力します。
	● プロトコル : TCP、UDP、TCP/UDPから選択します。
	●開始ポート : 選択したプロトコルの開始ポート番号を入力します。
	●終了ポート :選択したプロトコルの終了ポート番号を入力します。
	※入力後は、<追加>をクリックして、[現在の登録]欄に登録されたことを確認後、<登録>をクリックしてください。
⑥静的NATテーブル設定	プロバイダーとのLAN型契約などで、複数のグローバルIPアドレスを 取得した場合に、ローカルIPアドレスに1対1で変換させるためのテ ーブル設定です。
	取入3と回いNAIノーノルを改正してあり。 ● グローバルロ ・指定されたグローバルロアドレフを♪カ!ます
	・ノロ バリルF・1日AEC1 (JCノローバリルF) ドレスをハリしより。 (入力例:17216049)
	● ローカルIP : 任意のプライベートIPアドレスを入力します。
	(入力例:192.168.0.10)
	※入力後は、<追加>をクリックして、[現在の登録]欄に登録されたこ
	とを確認後、<登録>をクリックしてください。

5

3. [回線設定]画面

<u> 接続状況</u> • 詳細設定 <u>回線設定</u>	取消 登録して再起動 回線種別の設定は再起動像に有効になります。 ① ② 回線程別 ③ ○ISDNダイヤルアップ ○フレッツJSDN <ご注意> ○専用線(64kbps) 回線種別を変更した場合、 ・ 専用線(128kbps) 一 ・ ○ONエコノミー ■ ISDN着信識別番号設定 二の項目は、ダイヤルイン著信やサブアドレス著信を 電話番号 ④					
①<取消>	での画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。					
②<登録して再起動>	この画面中の設定内容を変更したとき、その内容を有効にするため 本製品を再起動します。					
③回線種別	本製品を再起動します。 以下の5つから、使用する回線を選択します。 • ISDNダイヤルアップ(出荷時の設定) 「INSネット64」を利用して、ダイヤルアップ接続をする設定を行います。 • フレッツISDN NTTが提供するフレッツISDNを利用して、ご契約のプロバイダー と定額接続するための設定を行います。 • 専用線(64kbps) 通信速度が64kbpsの専用線を利用するための設定を行います。 • 専用線(128kbps) 通信速度が128kbpsの専用線を利用するための設定を行います。 • OCNエコノミー NTTが提供するプロバイダーと契約してインターネット接続のため の専用線サービスを利用する設定を行います。 * OCNには「ダイヤルアクセスサービス」もありますが、この場合の 設定は、「ISDNダイヤルアップ」を選択して設定を行ってくださ					
④電話番号	専用線では、入力不要です。					
⑤サブアドレス	専用線では、入力不要です。					

第4部 第2章

本体設定と管理

この章では、

設定ページの、<本体設定と管理>メニューで表示される画面について説明します。

※[メール着信通知設定]および[着信メール一覧]画面は、専用線では利用できません。

1. [本体管理設定]画面

本 <u>体管理設定</u> SYSLOG設定		Hawkfir @Ha				
<u>メール着信通知設定</u>	して 管理者ID設定					
着信メール一覧	管理者ID 3					
	管理者バスワード ④					
	バスワードの確認入力 (5)					
	合用者ID設定	登録/取消▲				
	使用者ID 7					
	使用者バスワード 8					
	使 バスワードの確認入力 ⑨					
	用 手動接続・切断を許可	する				
	通信記録表示シリアを計り(1)					
	用「手動接続・切断を許可	する				
	者接続設定編集を許可	00111 0J3				
	2 通信記録表示・クリアを許可	oltan 053				
	e 使用者ID					
	使用者バスワード					
	使パスワードの確認入力					
	用 手動接続・切断を許可	する				
		0 UTIL 0 73				
	通信記録表示・クリアを許可	0U4U 095				
	「「「「「「「」」」」」「「」」」」「「」」」「「」」」」「「」」」」「「」」」」					
	用 手動接続・切断を許可	する				
	者接続設定編集を許可	のしない のする				
	4 通信記録表示・クリアを許可	oltan 073				
①<登録>	この画面の設定内容を変更したとき、	その内容を確定するボタンです。				
②<取消>	この画面の設定内容を変更したとき、 なお、一度<登録>をクリックすると、	変更前の状態に戻すボタンです。 変更前の状態には戻りません。				
③管理者ID	本製品の設定ページへのアクセスを制	限する場合に、管理者としての				
	名前を、大文字/小文字の区別に注意し	」て、任意の英数字、半角31(全				
	角15)文字以内で入力します。	(入力例:Router)				
	管理者IDを設定すると、次回のアクセスからユーザータの入力を求め					
	られますので、そこに管理者旧を人力	します。				
④管理者パスワード	③管理者ID」に対するパスワードを調	没定する場合、大文字/小文字の				
	区別に注意して、任意の英数字、半角	31(全角15)文字以内で入力し				
	±7					
		_ / \				
	人力した文字は、すべて *(アスタリ	人ク)」で表示されます。				
		(表示例:****)				
	管理者パスワードを設定すると 次回					
	カを求められますので、そこに管理者	バスリードを人力します。				
⑤パスワードの確認入力	「④管理者パスワード」の入力問違いな	防ぐために、パスワードを再入				
		(丰二個・シャッカ)				
	1104 A º	(衣小沙) · * * * * /				

1. [本体管理設定]画面(つづき)

74.63	Tree Mar	
管理	と 新D設定	
管理者	id 3	
管理者	新スワード (4)	
バスワ		
今日		容器/取消▲
6		
/±=		
假田	ハスリートの確認人力 ⑤	+7
四 考	手動接続・切断を許可	95
1	接続設定編集を計り	0 UIN 0 9 5
	通信記録表示・クリアを許可 🕕	olan of 3
	使用者ID	
-	使用者バスワード	
使	バスワードの確認入力	
用	手動接続・切断を許可	する
者 o	接続設定編集を許可	⊙しない ○する
2	通信記録表示・クリアを許可	⊙しない のする
_	使用者ID	
<u> </u>	使用者バスワード	
使	バスワードの確認入力	
用	手動接続・切断を許可	する
者	接続設定編集を許可	⊙しない ○する
5	通信記録表示・クリアを許可	⊙しない ○する
_	使用者ID	
-	使用者バスワード	
使	バスワードの確認入力	
用	手動接続・切断を許可	
者	接続設定編集を許可	⊙しない ○する
4	通信記録表示・クリアを許可	のしない のする

> 内で入力します。 (入力例:elecom) 使用者IDを設定すると、管理者IDが設定されているときと同じように パスワードの入力を求められますので、そこに使用者IDを入力します。

 ⑧使用者パスワード ……………
 「⑥使用者ID」に対するパスワードを設定する場合、大文字/小文字の 区別に注意して、任意の英数字、半角30(全角15)文字以内で入力し ます。
 (表示例:****)
 使用者パスワードを設定すると、管理者パスワードが設定されている ときと同じようにパスワードの入力を求められますので、そこに使用 者パスワードを入力します。

③パスワードの確認入力 ……… 「⑦使用者パスワード」の入力間違いを防ぐため、パスワードを再入力します。
します。

10接続設定編集を許可 ………… 使用者に接続先の編集を許可するかしないかの選択です。

①通信記録表示・クリアを許可… 使用者に[通信記録]画面へのアクセスと、画面中の<クリア>の操作を 許可するかしないかの選択です。

2. [SYSLOG設定]画面

ログ情報などをSYSLOGホストを利用して管理する場合、SYSLOG 機能を利用したファイルとして一括管理ができます。以下の項目から、 SYSLOGとして出力する情報を選択します。

<u>本体管理設定</u> <u>SYSLOG設定</u> <u>メール看信通知設定</u> <u>著信メール一覧</u> 時計設定		CULIN 073 CULIN 073 CULIN 073 CULIN 073				
①<登録>	この画面の設定内容を変更した	とき、その内容を確定するボタンです。				
②<取消>	この画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。 なお、一度<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。					
③DEBUGを使用 ······	ISDNやPPPなど各種デバッグ情報をSYSLOGに出力するかしない かを選択します。					
④INFOを使用 ······	INFOタイプのメッセージをSN ます。	/SLOGに出力するかしないかを選択し				
⑤NOTICEを使用 ······	NOTICEタイプのメッセージな 択します。	をSYSLOGに出力するかしないかを選				
⑥ホストアドレス	SYSLOG機能を使用する場合、SYSLOGを受けるホストのアドレス を入力します。 ホストは、SYSLOGサーバ機能に対応している必要があります。					
⑦ファシリティ	SYSLOGのファシリティを入た 0~23の値を設定してくださし 通常「1」を使用します。	カします。 N。				

3. [時計設定]画面

本体管理設定 SYSLOG設定 メール者信通知設定	登録 取消 (四) (1) (2) (力) (2)	Hau	ukfi i	- 0	Hawk	fir	@ Hai
着信 <u>メール一覧</u> 時計設定			2001年 2001年	01月 04 月	01 🗄 04 🗄	05時 15 時	50分 ³¹ 分
	自動時計設定 自動時計設定を使用 NTPサーバ1 IPアドレ NTPサーバ2 IPアドレ アクセス時間間隔() 前回アクセス日時 次回アクセス日時()	5 ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	D		Cしない ●する 133.100.9.2 1 日 // 2001/01/02 000		
①<登録>	この画面の設定	定内容	を変更した	ことき、そ	その内容を研	確定する	ボタンです。
②<取消>	この画面の設定 なお、一度<登	定内容 録>を	を変更し† クリック ⁻	ことき、薬 すると、	変更前の状態 変更前の状	態に戻す: 態には戻	ボタンです。 りません。
③本体の時刻	本製品に設定す	されて	いる時刻な	を表示しる	ます。		
④設定する時刻	本製品の設定ページにアクセスしたとき、パソコンの時計設定を取得 して表示します。 表示する時間は、[時計設定]画面アクセス時の時間です。 ※正確に設定したいとき、全設定を初期化したとき、停電対策用電池を 交換したあとなどは、画面更新(左フレームの[時計設定]項目をクリ ック)してから、<登録>をクリックしてください。						
⑤自動時計設定を使用	インターネッ い、内部時計な	ト上に を自動	こ存在する 設定します	ッタイムț す。	ナーバに日日	時の問い	合わせを行
⑥NTPサーバ1 IPアドレス	最初にアクセス	スさせ	たいタイム	ムサーバの	DIPアドレ:	スを入力	します。
⑦NTPサーバ2 IPアドレス	「⑥NTPサーノ るときは、その 返答がないとき ムサーバにアク	(1 IP) DIPア きは、 クセス	アドレス」 ドレスを 再度「⑥N します。	の次にア 入力しま ⁻ TPサーノ	クセスさせ す。 ヾ1 IPアドI	!るタイ <i>L</i> レス」で話	ムサーバがあ 定したタイ
⑧アクセス時間間隔	タイムサーバ 最大99日まで	こアク ご設定で	セスさせる ごき、その	る間隔を、)日数にし	日数で設; ,たがってテ	定します ?クセスし	。 レます。
⑨前回アクセス日時	タイムサーバ	こアク	セスした日	日時を表演	示します。		
⑩次回アクセス日時	タイムサーバ 「⑧アクセス時	にアク 間間隔	ッセスする 副で設定る	う予定日間 された日望	寺を、「⑨前 数より算出	1回アク1 して表示	2ス日時」と します。

第4部第3章

ネットワーク

この章では、

設定ページの、<ネットワーク>メニューで表示される画面について説明します。

1.	[本体ネットワーク設定]画面	·14
2.	[無線LAN設定]画面	·18
З.	[簡易DNSサーバ設定]画面	·22
4.	[IPフィルタ設定]画面	·23
5.	[RIP設定]画面	·27
6.	[ルーティング設定]画面	·28

1. [本体ネットワーク設定]画面

本体ネットワーク設定	登録 取消 登録して再起動 このページの設定は再起動後に有効になります。 このページの設定は再起動後に有効になります。 この ページの設定は再起動後に有効になります。 この ページの設定はある この ページの設定は再起動後に有効になります。 この ページの設定はある この ページの設定はある この ページの この ページの 記述 この へ この へ この へ この へ へ へ へ へ へ			
<u>簡易DNSサーバ設定</u>				
IPフィルタ設定	本体名称	WL11RT		
<u>RP設定</u> ルーティング設定		192.168.1.1		
	サブネットマスク	255.255.255.0		
	リモートアクセス用IP設定		登録/取消▲	
	リモートアクセスサーバ	⊙したい こする		
	で使用 (*) IPアドレス1		ロトロの実明光で範囲と	
	1P75UZ2 8		重ならないように設定します。	
	DHCPサーバ設定		登録/取消▲	
	DHCPサーバ機能を使用 (9)	○しない ⊙する		
	割り当て開始IPアドレス 10	192.168.1.10		
	割り当て個数 ①	30 個		
	サブネットマスク 12	255.255.255.0		
	リース期間 13	3 8		
	ドメイン名 14			
	プライマリDNSサーバ (15		DNSサーバの代理応答機能を	
	セカンダリDNSサーバ 16		使用する場合は無効となります。	
	プライマリWINSサーバ 🛈 🗧			
	セカンダリWINSサーバ 18			
	静的DHCPサーバ設定(19)		登録/取消▲	
	登録の追加			
	MACアドレス		IP7ŀUZ	
			追加	
	現在の登録			
	MACアドレス		IPアドレス	
①<登録>	この画面の設定内容を変変更された内容で運用す	変更したとき、そ するには、再起動	・の内容を確定するボタンです。 か必要です。	
②<取消>	この画面の設定内容を変 なお、一度<登録>をク!	変更したとき、変 リックすると、変	更前の状態に戻すボタンです。 変更前の状態には戻りません。	
③<登録して再起動>	この画面中の設定内容 本製品を再起動します。	を変更したとき、	、その内容を有効にするため、	
④本体名称	ネットワーク上で、本製品を識別する名前です。 設定した名前は、ネットワーク上の有線/無線接続されたパソコンから 本製品に直接アクセスするためのドメイン名の一部として使えます。 入力形式:[http://web.本体名称/] この場合、[簡易DNSサーバ設定]画面の「④DNSサーバの代理応答 (☞P30)を「する」(初期設定)に設定しておく必要があります。また ほかのネットワーク機器と重複しないように、アルファベットで始ま る半角英数字(A~Z、0~9、-)、31文字以内で設定します。 ※全角文字(15文字以内)も入力できますが、DNSサーバの代理応行 機能は利用できません。			
⑤IPアドレス	[WAN設定]画面の「③オ 目に反映します。	⊧体のWAN側」(¤	☞P4)で設定した内容をこの項	
⑥サブネットマスク	[WAN設定]画面の「③本 目に反映します。	⊧体のWAN側」(¤	☞P4)で設定した内容をこの項	

1. [本体ネットワーク設定]画面(つづき)

登録 取消 登録して再起動 この	ページの設定は再起動後に有効	
①本②/IPアド③設定		
本体名称()	WL11RT	
IPアドレス (5)	192.168.1.1	
サブネットマスク 6	255.255.255.0	
リモートアクセス用IP設定		登録/取消▲
リモートアクセスサーバ を使用 ⑦	⊙しない ○する	
IPアドレス1 IPアドレス2 8		DHCPの割り当て範囲と 重ならないように設定します。
DHCPサーバ設定		登録/取消▲
DHCPサーバ機能を使用 (9)	○しない ⊙する	
割り当て開始IPアドレス 10	192.168.1.10	
割り当て個数 (1)	30 (固	
サブネットマスク (12)	255.255.255.0	
リース期間 13	3	
ドメイン名 (14)		
プライマリDNSサーバ (15)		DNSサーバの代理応答機能を
セカンダリDNSサーバ (16)		使用する場合は無効となります。
プライマリWINSサーバ 🕧		
セカンダリWINSサーバ (18)		
静的DHCPサーバ設定19		登録/取消▲
登録の追加		
MACTFLス		IPアドレス
		追加
現在の登録		
MACアドレス		IPアドレス

⑦リモートアクセスサーバ	
を使用 ······	専用線では利用できないため、設定しても無効です。
⑧IPアドレス1/IPアドレス2 …	専用線では利用できないため、設定しても無効です。
⑨DHCPサーバ機能を使用	本製品を動的DHCPサーバとして使用するかしないかを設定します。 本製品に有線および無線で直接接続しているパソコンのTCP/IP設定 を、"IPアドレスを自動的に取得する"と設定している場合、本製品 のDHCPクライアントになります。 この機能によって、動的にDHCPサーバである本製品からIPアドレス /サブネットマスク、ルータやDNSサーバのIPアドレス/ドメイン名 が与えられます。
⑩割り当て開始IPアドレス	本製品に有線および無線で直接接続するパソコンへ、IPアドレスを自 動で割り当てるときの開始アドレスを設定します。
①割り当て個数	上記「⑩割り当て開始IPアドレス」から連続で自動割り当て可能なアド レスの最大個数を、5~128のあいだで設定します。
⑫サブネットマスク	上記「⑩割り当て開始IPアドレス」に対するサブネットマスクです。
⑬リース期間	DHCPサーバが自動で、ローカルIPアドレスを定期的に、クライアン トに割り当てなおす期限を日数で指定します。

1. [本体ネットワーク設定]画面(つづき)

◎與 [即]]]]]]]]]]]]]]]]]]		
	ページの設定は再起動1初に有効。	
①本役》/IPアド③設定		
本体名称(4)	WL11RT	
IPアドレス (5)	192.168.1.1	
サブネットマスク (6)	255.255.255.0	
リモートアクセス用IP設定		登録/取消▲
リモートアクセスサーバ を使用 ⑦	⊙したい ○する	
IPアドレス1 IPアドレス2 ⑧		DHCPの割り当て範囲と 重ならないように設定します。
DHCPサーバ設定		登録/取消▲
DHCPサーバ機能を使用 (9)	○しない ⊙する	
割り当て開始IPアドレス ①	192.168.1.10	
割り当て個数 ①	30 個	
サブネットマスク (12)	255.255.255.0	
リース期間 (13)	3 8	
ドメイン名 (14)		
プライマリDNSサーバ (15)		DNSサーバの代理応答機能を
セカンダリDNSサーバ (16)		使用する場合は無効となります。
プライマリWINSサーバ (17)		
セカンダリWINSサーバ 18		
静的DHCPサーバ設定(19		登録/取消▲
登録の追加		
MACアドレス		IPアドレス
		追加
現在の登録		
macアドレス		IPアドレス

⑭ドメイン名	Ethernetでドメイン名を使用しているときなど必要があれば、 DHCPサーバがクライアントに通知するネットワークアドレスのドメ イン名を入力します。
⑮プライマリDNSサーバ	[接続]画面(☞P3)で設定した内容を、この項目に反映します。 「⑨DHCPサーバ機能を使用」を「する」に設定し、必要に応じて使い分 けたいDNSサーバのアドレスが2つある場合は、優先するどちらかー 方を入力します。 入力すると、本製品のIPアドレスの代わりに設定したDNSサーバア ドレスをDHCPクライアントに通知します。
⑯セカンダリDNSサーバ ······	[接続]画面(☞P3)から設定した内容をこの項目に反映します。 上記「⑮プライマリDNSサーバ」と同様に、使い分けたいDNSサーバ アドレスのもう一方を入力します。
⑰プライマリWINSサーバ	Microsoftネットワークを使ってWINSサーバを利用する場合は、 WINSサーバアドレスを入力します。 WINSサーバのアドレスが2つ ある場合は、どちらか一方を入力します。
⑬セカンダリWINSサーバ	上記「⑰プライマリWINSサーバ」と同様、WINSサーバのアドレスが 2つある場合は、残りの一方を入力します。

1. [本体ネットワーク設定]画面(つづき)

登録 取消 登録して再起動 この	ページの設定は再起動後に有効に	
①本名ノノアド③設定		
本体名称(4)	WL11RT	
IP7FUZ (5)	192.168.1.1	
サブネットマスク 6	255.255.255.0	
リモートアクセス用IP設定		登録/取消▲
リモートアクセスサーバ を使用 ⑦	⊙しない ○する	
IPアドレス1 IPアドレス2 8		DHCPの割り当て範囲と 重ならないように設定します。
DHCPサーバ設定		登録/取消▲
DHCPサーバ機能を使用 (9)	○しない ⊙する	
割り当て開始IPアドレス 10	192.168.1.10	
割り当て個数 ①	30 (固	
サブネットマスク 12	255.255.255.0	
リース期間 (13)	3 🗄	
ドメイン名 (14)		
プライマリDNSサーバ (15)		DNSサーバの代理応答機能を
セカンダリDNSサーバ 16		使用する場合は無効となります。
プライマリWINSサーバ 🚺		
セカンダリWINSサーバ (18)		
静的DHCPサーバ設定19		登録/取消▲
登録の追加		
MACアドレス		IPアドレス
		追加
現在の登録		
MACアドレス		IPアドレス

③静的DHCPサーバ設定 ……… DHCP⁺

DHCPサーバ機能を使用して自動割り当てるIPアドレスを、特定のパ ソコンに固定するとき、パソコンのMACアドレスとIPアドレスの組 み合わせを登録する欄です。

※入力後は、<追加>をクリックしてください。

※この欄には、最大16個の組み合わせまで登録でき、登録するパソ コンのIPアドレスは、DHCPサーバ機能で割り当てることができる 範囲外のアドレスを指定してください。

2. [無線LAN設定]画面

本体ネットワーク設定 無線LAN設定	登録<取消					
<u>国第しNSV - / WE</u> IPフィルタ設定	無線I AN設定					
	ESS ID	*****	この項目の設	(定は		
ルーティング設定	ESS IDの確認入力 5	*****	再起動後に有 なります。	「効」こ		
	無線詳細設定	,	登録/取消▲			
	チャンネル 6	6 -				
	Rts/Ctsスレッシュホール ⑦	無し 💌	チャンネル フ	?しッシュホールの設定は		
	WEPキーを使用 🚷	WEPキーを使用 (8) でしたい C する 再起動後に有効になります。				
	キージェネレータ (9)]			
		選択 文字列				
	WEP= 10	0 2 00-00-00-0	0-00			
		C 3 00-00-00-0	0-00			
		C 4 00-00-00-0	0-00			
	MACアドレスセキュリティ	一設定		登録/取消▲ この項目の設定は		
	MACアドレスセキュリティーを使	吏用 (11)	⊙しない ○する	再起動後に有効に なります。		
	本体無線部のMACアドレス(12	-01-9C			
	登録の追加					
	ΜΑΟΡΓΊΛΑ			追加		
	現在の登録	受信中の端末	通信状况			
	934/A070740/K					
①<登録>	この画面の設定内容	容を変更したとき	き、その内容を	を確定するボタンです。		
	変更された内容で選	軍用するには、₹	日記動が必要で	です。		
②<取消>	この画面の設定内容	容を変更したとき	も. 変更前の別	代態に戻すボタンです。		
		ちクリックオス		心心に)人 タホノ ノ とり。		
	なめ、一度<豆球>	をクリックするの	こ、変更則の征	て悲には戻りません。		
③< 壹録して冉起動>	この画面中の設定内容を変更したとき、その内容を有効にするため、					
	本製品を再起動します。					
(4) ESS ID	ワイヤレス接続による本製品、およびローカルネットワークへの不正					
-	trアクセフ tr どをR	ち止するための話	光明日ロを入る	りします		
	同じESS IDが設定された本製品と無線端末のあいだでのみ、ワイヤ					
	レス接続できます。					
		別に注音して	(任音の 苗物 ウ	→ 半台31(今台15)寸		
			山志の天奴子			
	学以内で人力します	5.	(出1	奇時の設定:Laneed)		
	また、入力した文字	字は、すべて「*	」で表示される	ます。		
			(]	^長 元例 · * * * * * * *)		
			(1			
		明治いた広グた	MI ECCI	ロを声えもします		
	大文字/小文字の区別に注意してください。 (表示例:******)					
⑥チャンネル	本製品と無線端末れ	がワイヤレス接線	売に使用する	無線伝送用チャンネル		
	を設定します。					
	※無線伝达エリア内に、別の無縁LANなどの機器か存在する場合は、					
	相互の電波干渉を避けるために、5チャンネル以上間隔をあけて設					
	定してください。					
			ぜ・安内シネオ			
	ベム心吐剤は、がに	しいい兄坦し此剤	±・王r りてり。)		

2. [無線LAN設定]画面(つづき)

登録 取消 登録して再起動 1 2 3	Pドレス登録およびWEPキ 再起動後に有効になります	ー以外の設定 。	i Field we	r @Hau
無線LAN設定 ESSID ④ ESSIDの確認入力 ⑤	*****		この項目の設定は 再起動後に有効に なります。	
無線詳細設定			登録/取消▲	
チャンネル (6) Rts/Ctsスレッシュホール (7) WEPキーを使用 (8) キージェネレータ (9)	6 ・ 無し ・ のしない のする		チャンネル、スレッシュホー 再起動後に有効になります	ルの設定は 。
wep‡- 10	選択 文字列 ① 1 00-00-00-0 C 2 00-00-00-0 C 3 00-00-00-0 C 4 00-00-00-0	00-00 00-00 00-00 00-00		
MACアドレスセキュリティー認	;定			登録/取消 <u>▲</u>
MACアドレスセキュリティーを使用	1)	ಂರ್ಮ ರ	する	この項目の設定は 再起動後に有効に なります。
本体無線部のMACアドレス (12)		Sec. 21	-01-9C	
登録の追加				
ΜΑΟΡΗΊΖΑ 🚯				追加
現在の登録 登録済みの端末	受信中の端末		通信状況	

⑦Rts/Ctsスレッシュホールド

ネゴシエーションするために送るパケットのデータサイズを、[500 バイト]または[1000バイト]から選択します。(出荷時の設定:無し) Rts/Cts(Request to send/Clear to send)スレッシュホールドを 設定すると、隠れ端末の影響による通信速度の低下を防止できます。 隠れ端末とは、下図のように、それぞれが無線ルータ[B]と通信でき ても、互いが直接通信できない無線端末[A]-[C]どうし([A]に対して [C]、[C]に対して[A])のことを呼びます。

通信の衝突を防止するには、送信要求(Rts)信号を受信した無線ルー タ[B]が、無線伝送エリア内にある無線端末[A]および[C]に送信可能 (Cts)信号を送り返すことで、Rts信号を送信していない無線端末は 無線ルータ[B]が隠れ端末と通信中であることを認識させます。 これにより、Rts信号を送信していない無線端末[A]または[C]は、無 線ルータ[B]へのアクセスを自制して、通信の衝突を防止できます。



⑧WEPキーを使用 ………

無線ネットワーク間で通信するデータを保護するために、WEP方式 (Wired Equivalent Privacy)によるデータの暗号化をするかしない かを選択します。

WEPキーを使用「する」と設定した場合、「⑨キージェネレータ」、および「⑩WEPキー」の設定に基づいて暗号化されます。

2. [無線LAN設定]画面(つづき)

登録 取消 登録して再起動 ア 再 1 2 3	ドレス登録およびWEPキ 起動後に有効になります	ー以外の設定 。	it Hel we	r @Hau
無線LAN設定 ESS ID ④ ESS IDの確認入力 ⑤	*****		この項目の設定は 再起動後に有効に なります。	
無線詳細設定			登録/取消▲	
チャンネル (6) Rts/Ctsスレッジュホール ⑦ WEPキーを使用 (8) キージェネレータ (9) WEPキー 10	6	00-00 00-00 00-00 00-00	チャンネル、スレッシュホー 再起動後に有効になります	·ルの設定は 。
MACアドレスセキュリティー設設	ŧ			登録/取消 <u>▲</u>
MACアドレスセキュリティーを使用	1)	ಂರ್ರಾಂ ೧	する	この項目の設定は 再起動後に有効に なります。
本体無線部のMACアドレス (12)		B-80-01-	-01-9C	
登録の追加				
масрыил (13)				追加
現在の登録				
登録済みの端末	受信中の端末		通信状況	

③キージェネレータ …………

暗号化および復号化に使う鍵を生成するための文字列を設定します。 入力する文字は、すべて「*」で表示します。 (表示例:**)

入力された文字列より生成された鍵は、下記の「⑩WEPキー」のテキ ストボックスに表示されます。

※通信対象となる相手間で、同じ文字列(大文字/小文字の区別に注意 して、任意の英数字/記号)を設定します。通信の対象となる相手間 で、設定された文字列が異なると、暗号化されたデータを復号でき ません。

10WEP+-

「⑨キージェネレータ」のテキストボックスに入力した文字列より生成 されたキーが、「1」、「2」、「3」、「4」の各「文字列」に、40ビット (16進数:10文字)ずつ表示されます。

「1」、「2」、「3」、「4」から選択したキーだけを暗号化に使用します。 復号化できるのは、「1」、「2」、「3」、「4」から選択した表示内容を相 手が暗号化に使用する場合だけです。

※「1」、「2」、「3」、「4」の各テキストボックスに直接入力することも できます。(この場合、「⑨キージェネレータ」のテキストボックスに、 文字列は表示されません。)

①MACアドレスセキュリティー

⑫本体無線部のMACアドレス… 本製品の無線部に登録されたMACアドレスを表示します。

2. [無線LAN設定]画面(つづき)

登録 取消 登録して再起動 アドレス登録あよびWEPキャレ外の設定は 再起動後に有効になります。 (1) (2) (3)				
無線LAN設定				
ESS ID 4 ESS IDの確認入力 5	*****		この項目の設定は 再起動後に有効に なります。	
無線詳細設定			登録/取消▲	
チャンネル 6 Rts/Ctsスレッシュホール 7 WEPキーを使用 8 キージェネレータ 9	 ● ▼ ●しない 0する 		チャンネル、スレッシュホー 再起動後に有効になります	ルの設定す F。
WEP‡~ ())	選択 文字列 ① 1 00-00-00-1 C 2 00-00-00-1 C 3 00-00-00-1 C 4 00-00-00-1	00-00 00-00 00-00 00-00		
MACアドレスセキュリティー影	淀			登録/取消▲
MACアドレスセキュリティーを使用	1)	ಂಟ್ಮು ರ	する	この項目の設定は 再起動後に有効に なります。
本体無線部のMACアドレス 12		State of the	-01-9C	
登録の追加				
MAC7FILZ 13				追加
現在の登録 登録済みの端末	受信中の端末		通信状況	

MACアドレスセキュリティーが有効なとき、この欄に設定したMAC アドレスが登録された無線通信LANカードを装着する弊社製ネットワ ーク機器と通信できます。

- ※入力は、半角文字で12桁を入力します。
- ※入力後は、<追加>をクリックして、画面の一番下に表示される[現 在の登録]欄に登録されたことを確認してください。
- ※MACアドレスを次のように入力すると、すべて同じアドレスとして処理します。
 11-11-11-22-33-33、1111111223333
 ※無線通信LANカードのMACアドレスを知りたいときは、弊社無線通信カードに付属する取扱説明書をご覧ください。

3. [簡易DNSサーバ設定]画面

本体ネットワーク設定 無線LAN設定 簡易DNSサーバ設定	登録 取消 登録して再起動 DNSサーバの代理応答は再起動後に有効になります。 ① ② ③				
<u>PC20D2302E</u> <u>RIP設定</u>	DNSサーバ設定			この項目の設定は再起動後に	
ルーティング設定	DNSサーハの代理応答(4) oltain	০ দেও	有効になります。	
	簡易DNSサーバ設定 (DNSサーバの代理応答機能を考	5) 「効にしておく必要がありま	ミす。)		
	登録の追加		登録/取消▲		
	IPアドレス	2		ホスト名	28th
	旧大の発行		I		
	1981至い豆林 IPアドレン	2		ホスト名	
①<登録>	この画面の設定内容 変更された内容です	容を変更したと 重用するには、	こき、その内容 再起動が必ら	容を確定するボタン 要です。	ノです。
②<取消>	この画面の設定内容 なお、一度<登録>	容を変更したと をクリックする	こき、変更前の ると、変更前	D状態に戻すボタン の状態には戻りまt	ノです。 さん。
③<登録して再起動>	この画面中の設定 本製品を再起動しる	内容を変更し ます。	たとき、その)内容を有効にする	っため、
④DNSサーバの代理応答	本製品を代理DNS 代理DNS機能とは たり、パソコンか です。 代理DNS機能を利 本製品のアドレスは DNSサーバのアド	サーバとしてf 、プロバイダ らのDNS要求 用すると、Et こ設定すると異 レスを変更する	代理応答する; 「一側のDNS 「をDNSサー hernet上の」 なるプロバイ る必要があり。	かしないかの設定て サーバアドレスを バヘ転送したりす パソコンのDNSサ イダーに接続すると ませんので便利です	です。 検出し る機能 一バでも て。
⑤簡易DNSサーバ設定	代理DNSサーバ機 用できます。 簡易DNSサーバを アドレスの組合せ 簡易DNSサーバ機 IPアドレスを検索 索するDNS逆引き ホスト名として"ジ のみ一致する場合 ※入力後は、<追加 ※ローカルなIPデ DHCPサーバを を固定しておく	能を使うとき を使用する場合 を登を使用する場て を登を使用する場て ないないない ないので がいた に た の に た 名 に ち ろ で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	、本製品を な、パソコン(です。 っと、UDP/E なと、IPアド す。 イン名"を登 されます。 してください のホスト名を のたくと なしてくたさい のます。	簡易DNSサーバと のホスト名と対応 うるによるドメイン うるによるドメイン うないらドメイン はないらど、ホ こ 登録するときは、 IPアドレスの組み	し す 名名 ス … 合て る かを ト 静わ使 IP ら検 名 的せ

4. [IPフィルタ設定]画面

本体ネットワーク設定	IPフィルタ設定 🏂 🕦				
高林山山山 簡易DNSサーバ設定	番号 (2)	編集 (3)			
IPフィルタ設定	フィルタ方向 (4)	OUT V			
	フィルタ方法 (5)	遮断 💌			
	プロトコル 6	ALL Cの他選択時			
	ボート番号 7	宛先	~		
		始点IPアドレス	始点サブネットマスク		
			255.255.255.255		
		終点IPアドレス	終点サブネットマスク		
			255.255.255.255		
		始点IPアドレス	始点サブネットマスク		
	宛先IPアドレス (9)		255.255.255		
		終点IPアドレス	終点サフネットマスク		
			255.255.255.255		
			発信元IDアドレフ		
		しポート方向 旅占 悠占 IPF	デロング レス		
			255 255 255 255 - 255		
		·	255 255 255 - 255		
①<追加>	上記の画面で入力した	こ条件で、IPフィル [.]	ターを設定します。		
	追加した内容は こ(の両面の下に表示さ	わます		
			1690		
2番号	最大64件のノイルタ	ーを豆球でさまり。			
	フィルターを登録す	ると、本製品が受信	または送信するパケットごと		
	に啓得されたフィル	シート比較します			
	に豆球でイルンイルン				
	この項目では、フィル	レターを比較する順	位を指定します。		
	フィルターを複数設置	定しているときは	番号の小さい順番に比較を開		
			田子の小との検田に比較と開		
	始します。				
	フィルターの条件に-	一致した時点で、そ	れ以降の識別番号のフィルタ		
	一は比較しません。				
③<編集>	設定済みのフィルタ-	ーを編集するボタン	です。		
	編集するフィルター	番号をλ カレてから	ボタンをクリックします。		
④フィルタ方向	パケットの通信方向	で、WAN側から本	製品に対して、フィルターの		
	対免となる方向を設す	テレ キオ			
		EUG90			
	以下の中から選択して	てください。			
	● OIIT 木製品から	WANI側に送信する	IPパケットに対して フィル		
	タリンク処	」埋を行います。			
	※フィルタ	リング処理は、アト	ドレス変換の前に行います。		
		に大制ロジュにナフ			
	●IN WAN測/)	94装而小文信9る	アハクットに刈して、ノイル		
	タリング処	l理を行います。			
	※フィルた	リーング加田(+ アト	ミレフ変換のあとに行います		
	ペノイルシ				
	●BOTH 本製品がW	/AN側に送信、およ	ςびWAN側から受信する両方		
	のIPパケッ	トに対して フィル	タリング処理を行います		
			レノノノノバルエビロレのタ。		

4. [IPフィルタ設定]画面(つづき)

	IPフィルタ設定	追加 1				
	番号 2		編集 3			
	フィルタ方向 (4)		OUT 💌			
	フィルタ方法 (5	5	遮断			
			ALL 💽 その他近	翼択時 📃		
	ポート番号 (7)		宛先		~	
			始点IPアドレス		始点サブネットマスク	,
	発信元IPアドレス (8	B)			255.255.255.255 タートサーブ ウェーレーマック	,
				r 	1冬県ワノホットマスフ 1955-255-255-255	
			始占10アドレス	2	200.200.200.200 始占サブネットマスク	,
		•			255.255.255.255	
	宛先IPアドレス US	9)	終点IPアドレス	ŕ	終点サブネットマスク	,
					255.255.255.255	
			+		≫/=:	
		≇₽⊓⊾⊐ш	小一P番号 ポート方向 抛占 紁	.ל וחבו		ルビアトレス クー IPアドレフサ
	前除 (10) IN 速度	新 TCP EST	宛先 *	*	255 255 255 255	- 255
	削除 64 IN 遮	断 TCP_EST	宛先/発信元 *	*	255.255.255.255	- 255
		ビーナンナ				r w na
しノイルタ万法	フィルタリン	クの方法	EUC、以 PC	の3週り	リかめります	0
	●遮断	回線の)接続に関係な	く、フ	ィルタリング	グの条件に一致
		した場	合、そのパケ	ットを	すべて破棄し	します。
	● 泽沼	同娘の	安結に関係力	~ ~		グの冬件に一致
					イルノウノノ	
		した場	合、そのパケ	ットを	すべく通過さ	2せます。
	●透過(接続中	Þ) 回線カ	「すでに接続さ	れてい	る状態で、こ	フィルタリング
		の冬母	に一致した場	合子	のパケットな	を通過させます
			「旅い」を称これ	C (1/4	い場口には、	そのハクット
		を破棄	します。この	ように	、パケットの	の送信をきっか
		けに自	動発呼するこ	とを防	正するときば	こ設定してくだ
		<u>+</u> 1)				
		2010				
⑥プロトコル	フィルタリン	グの対象	とたろパケッ	ЬЛЬ	ニンフポート	、届プロトコル
	フィルフラフ	ノリバ家	CAQ179	1.01.		「眉ノロトコル
	を選ぶ項目で	9。				
	• ALL	すべての)プロトコルの)条件に	一致します。)
	• TCP	TCPプI	コトコルの多体	キナジーナ じ	致します	_
						。 =+= 0 == ====
	● I GP_FIN	ICP_F	N/R510/79	מח שי	「処理の対象」	になります。
	 TCP_EST 	TCP_S	YNフラグのハ	ペケット	、が処理の対象	象になります。
	• UDP	UDPプ	ロトコルの条件	牛だけ(こ一致します	
			ロトコルの冬	佐だけ		- -
						⁷⁰ コリ <i>エ</i> エロナコ '
	●その他	IP層へ	ッターに含まれ	にる上1	⊻増ノ凵トコ	」ル番号を人力
		します。				
		プロト	コル表示の右の	つ欄に、	プロトコル	番号を10進数
						ビナい
		CO~2	こじま ビの干汚	「奴子を	[八月してく/	にこしる

4. [IPフィルタ設定]画面(つづき)

IPフィルタ設定 道加(
番号 2	編集 3	
フィルタ方向 (4)	OUT 💌	
フィルタ方法 (5)	遮断 💌	
プロトコル 🙆	ALL Cの他選択時	寺
ボート番号 🛛 🧷	宛先	~
	始点IPアドレス	始点サブネットマスク
		255.255.255.255
	終点IPアドレス	終点サブネットマスク
		255.255.255.255
	始点IPアドレス	始点サブネットマスク
		255.255.255.255
	終点IPアドレス	終点サブネットマスク
		255.255.255.255
	ボート番号	<u> 発信元IPアドレス</u>
番号方向方法プロ	トコル ポート方向 始点 終点 町	Pアドレス サブネットマスク - IPアドレス サ
削除 10 IN 遮断 TCF	<u>EST</u> 宛先 * *	255.255.255 - 255
削除 64 IN 遮断 TCF	*_EST <mark>宛先/発信元</mark> * *	255.255.255.255 - 255

 ⑦ボート番号 …………………………
 フィルタリングの対象となるTCP/UDPポート番号を入力する項目です。
 ▼印をクリックし、対象となるポートが「宛先」、「発信元」、もしくは 「宛先/発信元」なのかを指定して、番号を始点から終点まで連続で入 力します。また、特定のポートだけを指定するときは、始点だけまた は、始点/終点に同一の番号を入力してください。
 入力できるポート番号は、10進数で1~65535までの半角数字です。

なお、「宛先/発信元」を選択した場合は、宛先、発信元のどちらかが 一方が一致すると、フィルタリングの対象とします。

⑧発信元IPアドレス …………… IPアドレスは、ドット(.)ごとに区切られた4つの10進数(0~255までの半角数字)で構成してください。

● 始点IPアドレス/終点IPアドレス

発信元ホストのIPアドレスを設定することにより、特定のホストからのパケットをフィルタリングします。 何も入力しない場合は、すべてのアドレスを対象とします。

始点サブネットマスク/終点サブネットマスク
 この項目で指定したIPアドレスのネットマスクを設定します。
 IPアドレスとサブネットマスクは、始点から終点まで連続で入力します。また、特定の発信元ホストだけを指定するときは、始点だけ入力してください。

4. [IPフィルタ設定]画面(つづき)

	IPフィルタ設定 道加 1			
	番号 ②	編集 3		
	フィルタ方向 ④	OUT 💌		
	フィルタ方法 (5)	遮断		
	プロトコル ⑥	ALL 🔽 その他選択時		
	ボート番号 🛛 🧷	宛先	~	
		始点IPアドレス	始点サブネットマスク	
			255.255.255.255	
	発信元19アトレス 8	終点IPアドレス	終点サブネットマスク	
			255.255.255.255	
		始点IPアドレス	始点サブネットマスク	
			255.255.255.255	
		終点IPアドレス	終点サブネットマスク	
			255.255.255.255	
		ボート番号	発信元IPアド	レス
	番号方向方法プロトコ	ルボート方向 始点 終点 127	ドレスサブネットマスクー IP.	アドレスサ
	削除 UU IN 遮断 TCP_ES	「 宛先 * *	255.255.255.255 -	255
	削除 64 IN 遮断 TCP_ES	T 宛先/発信元 * *	255.255.255.255 -	255
⑨宛先IPアドレス	IPアドレスは、ドッ	ト(.)ごとに区切られ	にた4つの10進数(0,	~255ま
	での半角数字)で構成	してください。		
	●始点IPアドレス/紙	§点IPアドレス		
	宛先ホス トのIPア	ドレスを設定するこ	とにより 特定のホ	マトに対
	オスパケットをフ	/ 川々 川 ハグ トキオ		
		イルタリンノしより。	᠈ ᡔ᠋᠈᠋ᠴᡓᠴᡓ	
	始点に何も人力し	はい場合は、すべて(のアトレスを対象と	します。
	●始点サブネットマ	スク/終点サブネット	マスク	
	この項目で指定し	たIPアドレスのネッ	トマスクを設定しま	ਰ.
		マットマフクけ 始	占から紋占主で浦結	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
	1710200			C = C = C
	ます。また、特定	の宛先ホストだけを	指定するときは、始	点だけ人
	カレてください。			
	【発信元/宛先IPアト	レスの設定例】		
	●IPアドレスに192	.168.0.0		
	●サブネットマスク	255 255 255 2	52	
	ノイルターの対象と	はるIPア トレスは、		
	192.168.0.0から	192.168.0.3までと	となります。	
10~ 当 降、	設守したフィルター	た削除するボタンズ・	त	
עאנון>ש. ∕אוון	取止しにノイルター	で別は9のハクノC	9 °	

■ ご参考に

専用線設定では、出荷時の設定として、下の画面サンプルのようにフィルターが登録されています。

なお、設定されているフィルターの目的は、以下のとおりです。

63番: プライベートIPアドレスを割り当てたパソコンや、インター ネット上に公開しないサーバなどへの不正なパケットの着信 を防止

64番:本製品への不正なパケットの着信を防止

5. [RIP設定]画面

本体ネットワーク設定 無線LAN設定 簡易DNSサーバ設定 IPフィルタ設定 RIP設定 ルーフィック放在	登録 取消 登録して再起動 このページの設定は再起動後に有久 ① ② ③ RIP設定 LAN側にRIPを使用 ④ WAN側にRIPを使用 ⑤ PIPフィルク空穴 ⑥	oltan ofa				
①<登録>	マイルクシルスシレー マイルク動作 登録の追加 マイルク動作 フィルク動作 IPアドレス 調在の登録 マイルク動作 マイルク動作 IPアドレス この画面の設定内容を変更したとき、そ 変更された内容で運用するには、再起動	サブネットマスク 道加 サブネットマスク の内容を確定するボタンです。 か必要です。				
②<取消>	この画面の設定内容を変更したとき、変 なお、一度<登録>をクリックすると、変	更前の状態に戻すボタンです。 変更前の状態には戻りません。				
③<登録して再起動>	この画面中の設定内容を変更したとき、その内容を有効にするため、 本製品を再起動します。					
	RIP設定 RIPを使用することで隣接ルータと経路 に作成します。 LAN間ダイヤルアップ接続やHSD(高速 RIP使うと、RIPパケットがそのルータ を使って、約30秒毎にブロードキャス	各情報を交換して、経路を動的 専用線)間で使用します。 2のブロードキャストアドレス トされます。				
④LAN側にRIPを使用	LAN側にRIPパケットをブロードキャスト	するかしないかを選択します。				
⑤WAN側にRIPを使用	WAN側にRIPパケットをブロードキャス	トするかしないかを選択します。				
⑥RIPフィルタ設定	同一サブネットで使う複数のルータにあるRIPパケットを受信しないように、そのIPアドレスとサブネットマスクを入た 最大20件の登録が可能です。 ※入力後は、<追加>をクリックしてくた	らいて、特定のルータが出力す たのパケットを出力するルータ りします。 ごさい。				

6. [ルーティング設定]画面

本体ネットワーク設定	
<u>無線LAN設定</u>	
<u>簡易DNSサーバ設定</u>	
<u>IPフィルタ設定</u>	
RIP設定	
<u>ルーティング設定</u>	

イン	ターフェイス		IPアドレフ	L .		ネットマス	ク
local		192.1	168.1.1		255.255.25	5.0	
IP経路情報							
宛先	ネットマスク	,	ゲート	ウェイ	ネット	作成	メトリッ
192.168.1 (1)	255.255.255(2)		192.168.1.1 (3)	loc(4)	sta(5)	(6)
192.168.1.0	255.255.255.255		255.255.255.25	15	local	misc	
192.168.1.1	255.255.255.255		192.168.1.1		local	static	
192.168.1.255	255.255.255.255		255.255.255.25	15	local	misc	
スタティックルー	ティング設定						
登録の追加	应失	2	いトラフク	ゲー	トウェイ		クィオ
	96/6	-			10	Γ(1)	
明左の登録			J	1		\mathbb{U}	
4701至97至94 \$又敗	宛先	*	ミットマスク	ゲー	トウェイ	XKI M	ケ値
セレクト ルーティ 番号	ング		設定編集				
省方 按供士计			設定 備朱				
1女約6/1/ム		于 動 共		を進択した場	台は全(の絵	路に対して運用	Bority
*至6日 発信テロアドレス		22.70			-		
プロトコル制御		使用に	たい マーボード	来早 🗌			
家先ロアドレスまた	ロドメイン名						
セレクトルーティン	ジを使用する時間帯	00 :	00 ~ 00 : 00	1			
終了時刻で強制切	断	OL.	こ こ こ こ				
来早嫁败掉結		13nk	、コル生物ポー	人来早店	生ロアドレ	.フ また-けド	11.19
I III O WEIGI I SANGA		da mu	-14941141-246	- m - be		- X & / C (& I)	
IP経路情報							
ルータがパー	ケットの送信は	こおし	いて、その)パケッ	, トをと	ごのルー	タまた
端末に配送	すべきかの情報	を表	₹示します	o			
	ト 「フ クニ /	<u>м</u> , Д		ヽ╷ノテ≡Ⴠ	ᅌᆱᆓ		いぶら

その詳細は、この画面の最上部に「ネットワーク インターフェイス リスト」として表示されます。

⑤作成	どのように経路情報が作られたかを表示します。
	● static スタティック(定義された)ルートにより作成されています。
	● rip ダイナミック(自動生成された)ルートにより作成されています。
	●misc ブロードキャストに関係するフレーム処理で作成されています。
⑥メトリック ·····	経路のコストを表示します。

6. [ルーティング設定]画面(つづき)

	ネットワーク インターフェイス リスト				
	インター local	-フェイス	IPアトレス 192.168.1.1	ネットマスク 255.255.255.0	
	IP怒路情報				
	宛先	ネットマスク	ゲートウェイ	ネット 作成 メトリック	
	192.168.1	255.255.255	192.168.1.1 ③	loc (4) sta (5) (6) 0	
	192.168.1.0	255.255.255.255	255.255.255.255	local misc 0	
	192.168.1.255	255.255.255.255	255.255.255.255	local static U local misc 0	
	スタティックルーテ	ィング設定			
	登録の追加	宛失	オットフ フク ク		
		<u>967</u>	9		
	現在の登録				
	彩圣昆各	宛先	ネットマスクク	"ートウェイ メトリック値	
	セレクトルーティン	グ			
	番号				
	接続方法		● 手動発信 ● "拒絶する"を選択し;	と場合は全ての経路に対して適用されます	
	経路		22:プロバイダ1 💌		
	発信元IPアドレス				
	ブロトコル制御		使用しない 💌 ボート番号	-	
	宛先IPアドレスまたは	・メイン名			
	セレクトルーティングを	使用する時間帯	00:00~00:00		
	終了時刻で強制切断		00/21) 073		
	番号 経路 接続方法	も <mark>発信元IPアドレス</mark>	プロトコル制御ポート番号	宛先IPアドレスまたはドメイン名 使用	
	スタティック	ルーティング	沙 安宁		
	パンティング				
	ハクットの中	を経路を、息	図的に正我9 るル	ーティンクテーフルです。	
	登録できるの	は、最大20億	牛までです。		
	※入力後は、	<追加>をクリ	Jックして、「現在	の登録]欄に登録されたこ	
	レた研究	てください	また その内容		
				うは、[「注応 月刊] 凹山	
	(☞P28)に	も表示されま	व.		
⑦経路	• local	・啓録する約	S S S S	の提合です	
		 ・豆ぷりつか ・ ジロナフェ 			
	●	 ・	安統先かWAN側0)場合、▼印をクリックす	
		ると、登録	录された接続先がむ	5れば表示します。	
② 宕生		を選択 たし	-キロ 計名 レナマ	いわチ生のロマドレフたユ	
©7675		で歴れしたと	_ いは、刈承にはる	パロナルのドアドレスを入	
	力します。				
	経路にWAN	則を選択した	ときは、対象とな	る相手先のネットワーク	
		スカレキオ			
	in) ドレスを				
⑨ネットマスク	対象となる宛	先のIPアドレ	へに対するネット	マスクを入力します。	
⑩ゲートウェイ	ルーティング	の対象となる	らパケット転送先ル	ータのゲートウェイを入	
	力します。				
①メトリック値	宛先までのコ	ストを表す数	値を入力します。		
	数値が小さけ	れば転送能ナ	つの高い回線と見た	なれ、数値が大きければ	
	転送能力が低				
	∪~16まで入	、力できます。			

6. [ルーティング設定]画面(つづき)

ネットワーク イン	ターフェイス リスト						
インタ	ーフェイス	IPアドレス			ネットマス	. <u>ˈ</u>	
local		192.168.1.1	25	255.255.255.0			
IP経路情報							
宛先	ネットマスク	ゲートウ	ノエイ	ネット	作成	メトリック	7
192.168.1(1)	255.255.255 (2)	192.168.1.1 (3		oc (4)	sta(5)	6	0
192.168.1.0	255.255.255.255	255.255.255.255	5 I	ocal	misc		0
192.168.1.1	255.255.255.255	192.168.1.1		ocal	static		0
192.168.1.255	255.255.255.255	255.255.255.255	ō I	ocal	misc		0
スタティックルーテ	イング設定						
登録の追加							
経路	宛先	ネットマスク	ゲートウ	エイ	メトリック	7値	
local 7 🗸	8	9	10)	ΓÛ	追	bo (
現在の登録							
糸圣 路	宛先	ネットマスク	ゲートウ	エイ	メトリック	7値	
セレクトルーティン	ヷ						
番号		設定編集					
接続方法		手動発信 💌 "拒絶する"を	き選択した場合は	全ての経路	に対して適用	はれます	
経路		22:プロバイダ1 💌					
発信元IPアドレス							
ブロトコル制御		使用しない 💌 ボート	番号	- 🖂			
宛先IPアドレスまたはドメイン名							
セレクトルーティングる	セレクトルーティングを使用する時間帯 00:00~00:00						
終了時刻で強制切断 のしない 0する							
番号経路接続方法	法 <mark>発信元IPアドレス</mark>	プロトコル制御 <mark>ポー</mark>	ト番号 宛先	IPアドレフ	スまたはド	メイン名	吏用

セレクトルーティング 専用線では、動作しません。

30

第4部 第 4章



この章では、

設定ページの、<通信記録>メニューで表示される画面について説明します。

1. [通信記録]画面

接続先と回線を接続および切断したときの状態を、履歴として表示します。

<u>通信記録</u> アナログボート <u>1</u> アナログボート2	りア ① 日付・時間 01/01 01:15.32 第 01/01 01:15.33 F	乳より切断理由コード#38網障害 PPD1.手動接続要求番号(1245678)	通信記録 ③
①<クリア>	「②日付・時間」と「③	通信記録」に表示され	る内容を、消去します。
②日付·時間	日時を表示します。		
③通信記録	接続状況を表示しま	す。	

第4部第5章

保存と記録

この章では、

設定ページの、<保存と記録>メニューで表示される画面について説明します。

1.	[設定初期化]画面	 ·34
2.	[設定保存]画面 ·	 ·34

1. [設定初期化]画面

設定初期化 設定初期化 設定保存	c 全設定初期化 c アナログ設定初期化 c 無線部初期化	(全ての設定を初期化します) (アナログ設定を初期化します) (無線部の設定を初期化します)
<u>較更解释</u> ①初期化条件 ······	<u> 初期化実行</u> ② の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ー (クリロー・レスユー (クリロー・ ボタンをクリックします。
	 全設定初期化 設定した全内容を、出荷時(アナログ設定初期化 専用線設定では、動作します 無線部初期化 無線LANIc関する設定を、 	の設定に戻します。 せん。 出荷時の設定に戻します。
②<初期化実行>	上記、「①初期化条件」で選択 始します。	された初期化条件に従って、初期化を開

2. [設定保存]画面

設定初期化 設定保存 設定保存 設定保存	AttC204 Nim ILD 1/RT Is used to be a state of the state of
①<本体に登録>	「③表示画面」に表示する内容を、設定ページに書き込みます。
②< 取消 > ······	「③表示画面」に表示する内容を変更したとき、変更を取り消して、こ のファイルを最初に開いたときの内容に戻します。
③表示画面	全設定(変更含む)内容を表示します。 この画面をパソコンに保存することで、本製品の設定をバックアップ することできます。 なお、各画面で設定されたパスワードや、キージェネレーター(無線 LAN通信用暗号化鍵の生成元文字列)の内容は、暗号化されて表示さ れます。そのため、保存されたファイルよりそれらが外部へ漏れるこ とはありません。
第4部第6章

専用線の設定例集

この章では、

専用線の具体的な接続例に沿って、どのように設定するかについて説明します。 なお、回線種別はすでに設定(専用線:128kbps)されていることを前提として説明していますので、設定 方法を省略しています。(回線種別の設定は、6ページをご覧ください。)

1.	二地点間で、UnnumberedによるLAN型接続	·36
	■ ルータAの設定	·36
	■ ルータBの設定 ······	·39
2.	二地点間で、NumberedによるLAN型接続	·43
	■ ルータAの設定 ······	·43
	■ ルータBの設定	·43
З.	RIPによるLAN型接続	·44
	■ ルータAの設定 ······	·44
	■ ルータBの設定 ······	·46
	■ ルータCの設定 ······	·48





2.接続先設定

<詳細設定>をクリックして、ルータBへ接続するための設定を以下のように行います。

2.	クリック	►(登録 取消	enauknir ena
			接続設定	
1.	bbb(任意でよい)		接続先名 ► ►	bbb
			デフォルトGWを構築	のしない のする
			ブライマリDNSサーバ	
			セカンダリDNSサーバ	

※プライマリDNSサーバとセカンダリDNSサーバは、接続先から指 定された場合に入力します。

3.WAN設定の確認

<WAN設定>をクリックして、「Numberedで使用」が「しない」になっていることを確認します。

	2.	クリック	┣►(登録 取消					
				WANインタ	マーフェース設定				
				本体の	IPアドレス] *	
	1	「したい」(確認)]	WAN(R)	サフネットマスク Stell				
	1.		J	Numbered C 相手の	ד, ואקסו	-(60at 990	Numbered	使用する
				WAN側	IFTIDA			場合に記載	
				‰Unnu	mberedの均	易合、「ス	本体のWA	N側」の「IPアドレ	ス」、「サブネッ
				トマス	クおよび[フ	相手のい	NAN側 の	「IPアドレス」は、	設定不要です。
4.	管理	者IDの設定		必要であ	れば設定し	ます。			
				<本体設い	定と管理>メ	ベニュー	をクリック	クレて、管理者の	D、管理者パス
				ワードを	設定します				
			1. ~			0			
	З.	クリック	- (登録 取消					
				管理者ID設	淀				
	1	router(任音でよい)	I	管理者ID				router)
	<u> </u>		1	管理者バスワ			_	****	
	2.	任意の央徴子を入力		ハスワートの植	催認人力		-		J
		※入力値は表示されま		使用者ID影				堂跡/収消▲	
		せん。		☑ 使用者	バスワード				
			•	使 パスワ	ードの確認入力				
				用 手動接	続・切断を許可			する	
				1 1 通信記	"定編集を許可 録表示・クロマを許	ন		のしない のする	
				使用者	ID	-]	_	Oraci O yia	
					\sim		\sim	\sim	\sim
F	<u></u>	수 1는 소 = 마. ㅡ		\ = +				_	
э.	414	名称の設定		必要でめ		すり。			
				<ネット	リーク>メニ	ニューを	クリックし	して、 本体名称」	を設定します。
	2.	クリック	┣►(登録 取消	登録して再起動	このページの)設定は再起動後に	有効になります。	c 🖾 Hai
				本体名称/	IPアドレス設定				
	1.	WL11RT(任意)		本体名称			RT		
				IPアトレス サブネットマス	<i>.7</i>	255.2	55 255 0		
				リモートアク	セク田IP設定	provid		登録/取消▲	
				リモートアクセ	スサーバ	e La	だい つする		
				ד ב- ואקסז	を使用		av. • > 2		
				IF7ドレス1 IP7ドレス2				DHCPの割り当 C範囲と 重ならないように設定しま	्व.
				DHCPサー	バ設定			登録/取消▲	
				DHCPサーバ	機能を使用	ەل	ಡು ⊙する		
				割り当て開始	IPアドレス	192.1	68.1.10		
				割り当て個数	5	30	個		
				ッフィットマス リース 加問	с,	255.2	bb.255.0		
				, ハッカロロ ドメイン名		9			
				ブライマリDN:	sサーバ			DNSサーバの代理応答	機能を
				<u>ーーー レダ</u> リDN	Sty-u		\sim	使用する場合は無効とた	
				\sim	\frown			\frown	
							フ し エエーデュ		

※ルータAでは、IPアドレスとサブネットマスクを初期設定の状態とします。

7.無線LANセキュリティーの設定

この画面で設定するESS IDを出荷時の設定(半角英文字:Laneed)で 使うと、ほかの端末から不正にアクセスされるおそれがありますので、 変更することをお勧めします。

無線端末から、本製品のESS IDの設定を変更するときは、本手順で <登録して再起動>操作を行ってから、本製品と通信する無線端末の ESS IDを本製品と同じ値に変更してください。 変更後、無線端末を再起動します。

2.	クリック	登録して再起動	h よ 記 記 動後に有効になります	=ー以外の設定は -。		
1.	任意の英数字を入力 ※入力値は表示されま	<mark>無線LAN設定</mark> ESS ID ESS IDの確認入力	*****	この項目の設定は 再起動後に有効は なります。	±	
	せん。	無線詳細設定		登録/取消▲		
		チャンネル Rts/Ctsスレッシュホール WEPキーを使用 キージェネレータ	6 」 無し 」 でしない Cする	チャンネル、スレッ 再起動後に有効い	シュホールの 設定は =なります。	
		wep‡~	選択 文字列 ① 1 00-00-00- ○ 2 00-00-00- ○ 3 00-00-00- ○ 4 00-00-00-	文字万川 00-00-00-00 00-00-00-00-00 00-00-00-00-		
		MACアドレスセキュリティ	一設定		登録/取消▲	
		MACアドレスセキュリティーを使	吏用	のしない ひする	この項目の設定は 再起動後に有効に なります。	
		本体無線部のMACアドレス		-01-9C		
		登録の追加				
		MACTFUZ			追加	
		現在の登録 登録済みの端末	受信中の端末	通信状況		
		※本製品の再起動な	を開始します。			

※有線端末から再起動を行った 場合、約10秒経過して、[専 用線(128kbps)接続状況]画 面を表示します。

専用線(128kbps)接続状況						
名称	発信元IPアドレス	相手先IPアドレス	状況			
			切断			

ルータBの接続先設定完了後、「接続」を上記画面の「状況」欄に表示することを確認してください。



2.接続先設定

<詳細設定>をクリックして、ルータBへ接続するための設定を以下のように行います。

2. クリック	►(登録 取消	епашкпі сепа
		接続設定	
1. aaa(任意でよい)		接続先名 ►(aaa
	1	デフォルトGWを構築	○しない ⊙する
		プライマリDNSサーバ	
		セカンダリDNSサーバ	
		※プライマリDNSサーバとセカ 定された場合に入力します。	コンダリDNSサーバは、接続先から指

3.WAN設定の確認

<WAN設定>をクリックして、「Numberedで使用」が「しない」になっていることを確認します。

2. クリック	▶ 登録 取消			
	WANイン	ターフェース設定		
	本体の	IPアドレス		
	WAN側	サブネットマスク		
1. 「しない」(確認)	Numbered	で使用	(oltan) #3	
	相手の WAN側	IPアドレス		Numberedで使用する 場合に記載

※Unnumberedの場合、「本体のWAN側」の「IPアドレス」、「サブネ ットマスク」および「相手のWAN側」の「IPアドレス」は、設定しても 無効です。

4.管理者IDの設定

必要であれば設定します。 <設定と管理>メニューをクリックして、管理者のID、管理者パスワードを設定します。

З.	クリック	►	Di CHaukfir C	
		管3	里者ID設定	
1.	router(任意でよい)	<u>管</u> 理		router
2.	任意の英数字を入力	管理 バフ	ロートの確認人力	**** ****
	※入力値は表示されま	使月	用者ID設定	登録/取消▲
	せん。		使用者ID 使用者バスワード	
		使	バスワードの確認入力	
		用者	手動接続・切断を許可	する
		1	接続設定編集を許可	でしたい 0 する
			通信記録表示・クリアを許可	01/21 095
			使用者ID たまた。 ー	
			使用者バスワード	

5.本体名称の設定

<ネットワーク>メニューをクリックして、「本体名称」、IPアドレス、 およびサブネットマスクを以下のように設定します。 ※本体名称は、ルータAと重複しないようにします。 ※ルータAとネットワーク部が異なるIPアドレスを入力します。

IPアドレスのネットワーク部を変更後は、手順6.で<登録して再起動 >操作を行ってから、無線端末および有線端末を再起動して、本製品 とネットワーク部が同じIPアドレスを取得してください。

5.	クリック	┣►(登録 取消	登録して再起動	このページ	の設定は再起動	後に有効	
_			本体名称/I	Pアドレス設定				
1.	WL11RT_B(任意)		本体名称)		11RT_B)	
	100 169 0 1	1	IPアドレス		- (192	.168.2.1)	
۷.	192.100.2.1		サブネットマスク	ל	255	.255.255.0)	
З.	255.255.255.0	<u> </u>	リモートアクロ	ビス用IP設定		-		登録/取消▲
		1	リモートアクセン	くサーハ を使用	o	しない りする		
			IPアドレス1					DHCPの割り当て範囲と
			IPアドレス2					重ならないように設定します。
			DHCPサール	「設定				登録/取演▲
		_	DHCPサーバ様	職能を使用	0	しない ⊙する		
4.	192.168.2.10	<u> </u>	実明当て開始に	בעואדים		.168.2.10)	
		1	割り当て個数		30	個		
			サブネットマスク	ל	255	.255.255.0		
			リース期間		3	Β		
			ドメイン名					
			プライマリDNS	サーバ				DNSサーバの代理応答機能を
			セカンダリDNS	sサーバ				使用する場合は無効となります。
			ブライマリWIN:	sサーバ				
			セカンダリWIN	Sサーバ				
			静的DHCP ^H	サーバ設定				登録/取消▲
			登録の追加					
			M	ACアドレス				IPアドレス
								追加
			現在の登録					
			M					IPTKLZ

6.無線LANセキュリティーの設定 <無線LAN設定>をクリックして、ESS IDを設定します。 この画面で設定するESS IDを出荷時の設定(半角英文字:Laneed)で 使うと、ほかの端末から不正にアクセスされるおそれがありますので、 変更することをおすすめします。

> 無線端末から、本製品のESS IDの設定を変更するときは、この手順 で<登録して再起動>操作を行ってから、本製品と通信する無線端末の ESS IDを同じ値に変更してください。 変更後、無線端末を再起動します。

2. クリック	登録 取▶ 登録して再起動	アドレス登録およびWEPキ 更起動後に有効になります。	ー以外の設定は	
1. 任意の英数字を入力	無線LAN設定			
※入力値は表示されま	ESS ID ESS IDの確認入力	► [****** *****	この項目の設定は 再起動後に有効に なります。	
せん。	無線詳細設定		登録/取消▲	
	チャンネル Rts/Ctsスレッシュホール WEPキーを使用 キージェネレータ	6 ・ 無し ・ のしない のする	チャンネル、スレッシ 再起動後に有効にな	ュホールの設定は ります。
	WEP+	選択 又字列 © 1 00-00-00 C 2 00-00-00 C 3 00-00-00 C 4 00-00-00-0	10-00 10-00 10-00	
	MACアドレスセキュリティー	-設定		登録/取消▲
	MACアドレスセキュリティーを使り	₹	のしない こする	この項目の設定は 再起動後に有効に なります。
	本体無線部のMACアドレス		-01-9C	
	登録の追加			
	MACアドレス			追加
	現在の登録 登録済みの端末	受信中の端末	通信状況	

※約10秒経過して、右の画面を 表示しますので、再起動して、 IPアドレスを再取得します。

※本製品の再起動を開始します。



7.設定ページにアクセスできることを確認

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.2.1」をアドレスバー に指定します。



8.ルータAの[専用線(128kbps)選択状況]画面の確認



上記画面の「状況」欄に、「接続」を表示しないときは、ルータAまたは ルータBの設定内容を確認してください。

9.ルータBの[専用線(128kbps)選択状況]画面の確認

		専用	専用線(128kbps)接続状況				
—			2称	発信元IPアドレス	相手先IPアドレス	大法況	
1.	aaa」を表示(確認)		aaa			接続	
		5.0		O Hawkeie O	l Hawhfir G		
2.	接続」を表示(催認)						

上記画面の「状況」欄に、「接続」を表示しないときは、ルータAまたは ルータBの設定内容を確認してください。

2.二地点間で、NumberedによるLAN型接続



通 信 対 象 と な る ル ー タ が Unnumberedに対応しない場 合、LAN側とWAN側に異なる IPアドレスを設定します。



■ルータAの設定

「1.二地点間で、UnnumberedによるLAN型接続(■ルータAの設定)」の手順1.~2.と同じように設定後、以下の画面を設定します。

【手順2.のつづき】 3.接続先設定

<WAN設定>をクリックして、WANインターフェイスを以下のよう に設定します。

5.	クリック	} ►(😻 🔟 HawkAir 🔘 HawkAir 🔘 Ha
1.	192.168.3.1		WANインターフェース設定
2.	255.255.255.0	<u> </u>	本体の IPアドレス (192.168.3.1) WAY 401 サブネットマスク (255.255.0)
З.	「する」を選択]—	Numberedで使用 相手の IDTALI フ IDTALI でする Numberedで使用する
4.	192.168.3.2	\vdash	WAN側 IPTFUA 場合に記載

上記画面を設定後、「1.二地点間で、UnnumberedによるLAN型接続 (■ルータAの設定)」の手順4.以降と同じように設定します。

■ルータBの設定

【手順2.のつづき】 3.接続先設定 「1.二地点間で、UnnumberedによるLAN型接続(■ルータBの設定)」の手順1.~2.と同じように設定後、以下の画面を設定します。

<WAN設定>をクリックして、WANインターフェイスを以下のよう に設定します。

5.	クリック	} ►(🛤 💷 Hawkfir @ Hawkfir @ Hav
1.	192.168.3.2	┣—	WANインターフェース設定
2.	255.255.255.0	<u> </u>	本体の IPアドレス (192.168.3.2) WAN(例 サブネットマスク (255.255.50)
З.	「する」を選択	}	Numberedで使用 CLLLでする 相手の ロマドレス いの14821 Numberedで使用する
4.	192.168.3.1	┣—	WAN側 #777レス → (hac. too.s.) 場合に記載

上記画面を設定後、「1.二地点間で、UnnumberedによるLAN型接続 (■ルータBの設定)」の手順4.以降と同じように設定します。

3.RIPによるLAN型接続



「2.二地点間で、NumberedによるLAN型接続(■ルータAの設定)」の 手順1.~7.にしたがって設定されている状態から、設定の追加を行い ます。

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバー に指定します。



■ルータAの設定

1.設定ページを開く

【手順】

2.デフォルトGWを構築

<詳細設定>をクリックして、「デフォルトGWを構築」を「する」に設定します。

2.	クリック			
		接続設定		
		接続先名		
1.	「する」を選択	デフォルトGWを構築	০₩০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০০	
		プライマリDNSサーバ		
		セカンダリDNSサーバ		

4.DNSサーバアドレスを指定

<ネットワーク>メニューの<本体ネットワーク設定>をクリックして、 DNSサーバアドレスを指定します。

クリック	▶ 登録 取消	登録して再起動	このページの設定は再起動	後に有効になります。	i – Q Hc
	本体名称/	「IPアドレス設定			
	本体名称		WL11RT		
	IPアドレス		192.168.1.1		
	サブネットマス	スク	255.255.255.0		
	リモートアク	フセス用IP設定		登録/取消▲	
	リモートアクゼ	2スサーバ を使用	⊙しない ○する		
	IPアドレス1			DHCPの割り当て範囲	٤
	IPアドレス2			重ならないように設定し	ます。
	DHCPサー	-バ設定		登録/取消▲	
	DHCPサー/	、機能を使用	○しない ⊙する		
	割り当て開始	3IPアドレス	192.168.1.10		
	割り当て個数	Į	30 1固		
	サブネットマス	スク	255.255.255.0		
	リース期間		3 🗄		
	1 ドメイン名				
192.168.2.2	73174DN	i st – V	▶ 192.168.2.2) DNSサーバの代理応領	答機能を
※ルータCのIPアドレ	セカンダリロト	√Sサーバ		使用する場合は無効と	なります。
	ブライマリWI	NSサーバ			
スを指定します。	セカンダリWI	INSサーバ			
	- 静的DHCF	Pサーバ設定		登録/取消▲	
	登録の追加				
	1	MACアドレス		IPアドレス	
				追加	
	現在の登録				
	1	MACTFUZ		IPアドレス	
DNSサーバ設定	<簡易D	NSサーバ設	定>をクリック	っして、「DNSサー	バの代理応答
	「しない	して設定しま	ਰ.		
			90		
クリック	● 登録 取消	登録して再起動	DNSサーバの代理応答は	再起動後に有効になります。	
	DNSサー/	バ設定			
「しない」を選択	DNS#-//G	の代理応答	🗕 🕒 🕞	する この項目の設定は 有効になります。	再起動後に
				HMICAJA 30	
	間易DNS	ノーハ設正			
	(DNSサ <u>ーバ</u>)	ひて 生む 合 懐 配 を 自 幼い	こし しおく 必要かのり <u>ます。</u>		
	<mark>(DNSサーバの</mark> 啓緑の迫hn	カド珪応音様能を有効	こしておく必要がめります。	∕ 取消▲	
	(DNSサーバ) 登録の追加	アトモル音報能を有効 IPアドレス	こしておく必要がめります。) 登録/	「取消▲ ホスト名	
	(DNSサーバ) 登録の追加		こしておく必要がめります。) 登録/	/ 1 取消▲ ホスト名	追加
	(DNSサーバ 登録の追加	IPアドレス	こしておくむ変かのります。)	「 取消 ホスト名 	道加
	クリック 192.168.2.2 **ルータCのIPアドレ スを指定します。 DNSサーバ設定 クリック 「しないJを選択	クリック ● <td>クリック ●<td>クリック ●<!--</td--><td>クリック 200 回到 200 □</td></td></td>	クリック ● <td>クリック ●<!--</td--><td>クリック 200 回到 200 □</td></td>	クリック ● </td <td>クリック 200 回到 200 □</td>	クリック 200 回到 200 □

6.RIP設定

<RIP設定>をクリックして、「WAN側にRIPを使用」を「する」に設定し ます。



2.DHCPサーバ機能の設定

<ネットワーク>メニューの<本体ネットワーク設定>をクリックして、 「DHCPサーバ機能を使用」を「しない」に設定します。

	本体名称/IPアドレス設定		
	本体名称	WL11RT	
	IPアドレス	192.168.2.1	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	リモートアクセス用IP設定		登録/取消▲
	リモートアクセスサーバ	⊙しない ○する	
			」し口に見の時間の日に範囲に 重ならないように設定します。
		, · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	登録/取当▲
1 「しない」を選択			
1. 0.000.281	割り当て開始IPアドレス	192.168.2.10	
	割り当て個数	30 (固	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	リース期間	3 8	
	ドメイン名		
	プライマリDNSサーバ		DNSサーバの代理応答機能を
	セカンダリDNSサーバ		使用する場合は無効となります。
	プライマリWINSサーバ		
	セカンダリWINSサーバ		
	 静的DHCPサーバ設定		登録/取消▲
	登録の追加		
	MACTFUZ		IPアドレス
			_ 注自力D
	旧大の啓得		
	MACアドレス		IPアドレス
.RIP設定	MACアドレス <rip設定>をクリック</rip設定>	して、[WAN(IPアドレス 則にRIPを使用」を「する」に設定
.RIP設定	MACアドレス <rip設定>をクリック ます。</rip設定>	して、「WAN(IPアドレス 則にRIPを使用」を「する」に設定
.RIP設定 2. クリック	MACアドレス <rip設定>をクリック ます。</rip設定>		
.RIP設定 2. クリック	MACアドレス <rip設定>をクリック ます。 RIP設定</rip設定>		
.RIP設定 2. クリック	MACアドレス <rip設定>をクリック ます。 RIP設定 LAN側にRIPを使用</rip設定>		
.RIP設定 2. クリック 1. 「する」を選択	MACアドレス <rip設定>をクリック ます。 RIP設定 LAN側にRIPを使用 WAN側にRIPを使用</rip設定>	して、「WAN(^{ページの設定は再起動後に}	
.RIP設定 2. クリック 1. 「する」を選択	MACアドレス <rip設定>をクリック ます。 RIP設定 LAN側にRIPを使用 WAN側にRIPを使用 RIPフィルタ設定 3</rip設定>		IPPFUス 則にRIPを使用」を「する」に設定 ^{(有効になります。} へしない。でする
RIP設定 2. クリック 1. 「する」を選択	MACアドレス <rip設定>をクリック ます。 RIP設定 LAN側にRIPを使用 WAN側にRIPを使用 RIPフィルタ設定 名 登録の追加</rip設定>	して、「WAN(ページの設定は再起動後に 2経ノ取済 <u>▲</u>	IPアドレス 則にRIPを使用」を「する」に設定 ^{病物になります。} へしない。でする
RIP設定 2. クリック 1. 「する」を選択	MACアドレス <rip設定>をクリック ます。 RIP設定 LAN側にRIPを使用 WAY側にRIPを使用 WAY側にRIPを使用 RIPフィルタ設定 名録の追加 フィルタ動作</rip設定>	して、「WAN(ページの設定は再起動後) 2 #/取済 <u>▲</u> つアドレス	IPアドレス 則にRIPを使用」を「する」に設定 ^{有効になります。} のし ^す ない。する サブネットマスク
RIP設定 2. クリック 1. 「する」を選択	MACアドレス <rip設定>をクリック ます。 RIP設定 LAN側にRIPを使用 WAN側にRIPを使用 WAN側にRIPを使用 RIPフィルク設定 名録の追加 フィルタ動作 III日の 1日本の約1</rip設定>	して、「WAN(ページの設定は再起動後) 2 8 #/取済 <u>▲</u> 2 アドレス	IPアドレス 則にRIPを使用」を「する」に設定 ^{有効になります。} のしてない のする のしてない のする サブネットマスク 道知
.RIP設定 2. クリック 1. 「する」を選択	MACアドレス <rip設定>をクリック ます。 RIP設定 LAN側にRIPを使用 WAN側にRIPを使用 WAN側にRIPを使用 RIPフィルタ設定 名録の追加 フィルタ動作 開機する 現在の多数体</rip設定>	して、「WAN(ページの設定は再起動後に 2 録/取済 <u>▲</u> つアドレス	IPTドレス 則にRIPを使用」を「する」に設定
.RIP設定 2. クリック 1. 「する」を選択	MACアドレス <rip設定>をクリック ます。 RIP設定 LAN側にRIPを使用 WAN側にRIPを使用 WAN側にRIPを使用 RIPフィルタ設定 名録の追加 フィルタ動作 調在の登録 フィルタ動作 II</rip設定>	して、「WAN(ページの設定は再起動後に 2월/取済▲ P7ドレス	IPアドレス 削にRIPを使用」を「する」に設定 (本本の)ます。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

■ルータCの設定

【手順】

1.設定ページを開く

設定には、44ページの図と併せてご覧ください。

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバー に指定します。

	🚈 初期設定ページ – Microsoft Interne	et Explorer	
	」 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) オ	お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)	
1 http://19216811/		□ <u>〕</u> 二	🔊 🤮 お気に入り 履い
1. mtp:// 102.100.11//	71"170 entre://192.168.1.1/		
	Laneed		
			L . C
	Air@Hawk		回線と接
	ISDN Wireless Router	現在の接続状況を表	示しています。回
	LD-WL11/RT	接続先の追加により	最大201個の接続
	Ver 0.92 Copyright 2001 ELECOM		
	Co.,Ltd		統状況
	✔ 回線と接続	名例	(先)に元(アノトレ
		\sim	\sim

2.0CNエコノミーの選択

<回線設定>をクリックして、「OCNエコノミー」を選択します。



З.

255.255.255.248

4.管理者IDの設定

<設定と管理>メニューをクリックして、管理者ID、管理者パスワードを設定します。

3. クリック		
	管理者ID設定	
1. router(任意でよい)	管理者ID ^{範囲} 考パフロード	
2. 任意の英数字を入力	パスワードの確認入力	► ** **
※入力値は表示されま	使用者ID設定	登録/取消▲
せん。	使用者ID 使用者バスワード	
	中 手動接続・切断を許可 者 接続設定編集を許可	98 でしない 07る
	通信記録表示・クリアを許可	のしばい こする
	使用者ID 使用者バスワード	
	使パスワードの確認入力	
	日手動接続・切断を許可せ	する

5.本体IPアドレスの変更

<ネットワーク>メニューの<本体ネットワーク設定>をクリックして、 ネットワーク部がルータBと同じIPアドレスとなるように設定します。

5. クリック	▶ 登録 取消 登録して再起動 この	ページの設定は再起動後に有効	
	本体名称/IPアドレス設定		
1. WL11RT_C(任意)	本体名称	WL11RT_C	
	IPアドレス	192.168.2.2	
2. 192.108.2.2	サブネットマスク	255.255.255.0	
3. 255.255.255.0	リモートアクセス用IP設定		登録/取消▲
	リモートアクセスサーバ を使用	⊙したい ○する	
	IPアドレス1		DHCPの割り当て範囲と
	IPアドレス2		重ならないように設定します。
	DHCPサーバ設定		登録/取消▲
	DHCPサーバ機能を使用	○しない ⊙する	
4. 192.168.2.10	害則当て開始Ⅰ₽アトビレス	192.168.2.10	
	割り当て個数	30 1世	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	リース期間	3 8	
	ドメイン名		
	ブライマリDNSサーバ		DNSサーバの代理応答機能を
	セカンダリDNSサーバ		使用する場合は無効となります。
	ブライマリWINSサーバ		
	セガンタリWINSサーハ		
	静的DHCPサーバ設定		登錄/取消▲
	登録の追加		
	MAC7FLZ		IPアドレス
			10/11
	現在の登録		
	MACTEUX		иркрух
			ったたいて 白動的記中され
		UIC笑約IPゲトI	ノスに心して、日勤的設定され
	たマスカレードIPアド	レスを[アドレス	変換]画面(☞P5)で確認できま

6.無線LAN設定

<無線LAN設定>をクリックして、無線端末の設定を以下のように行います。

この画面で設定するESS IDを出荷時の設定(半角英文字:Laneed)で 使うと、ほかの端末から不正にアクセスされるおそれがありますので、 変更することをおすすめします。

無線端末から、本製品のESS IDの設定を変更するときは、この手順 で<登録して再起動>操作を行ってから、本製品と通信する無線端末の ESS IDを同じ値に変更してください。 変更後、無線端末を再起動します。

1. 任意の英数字を入力 無線LAN設定 ※入力値は表示されま この項目の設定は 正の項目の設定は 正の項目の設定は 正の項目の設定は 正の項目の設定は 正の項目の設定は 正の項目の設定は 正の項目の設定は 正の項目の設定は 正の項目の設定は 正の項目の設定は 正しょ この項目の設定は 正の項目の設定は 正の項目の設定は 正の項目の設定は この項目の設定は 正の項目の設定は この項目の設定は 正の目の設定は この項目の設定は 正の目の設定は この項目の設定は 正の目の設定は この項目の設定は 正の目の設定は この項目の設定は 正の設定した この項目の設定は 正の目の設定は この項目の設定は 正の設定した この項目の設定は 正の設定した この項目の設定は 正の目の この項目の設定は 正の目の この項目の 日本 日本 日本 日本 </th <th></th>	
せん。	
チャンネル 6 マ Rts/Ctsスレッシュホール 無し マ チャンネル、スレッシュホー WEPキーを使用 のしばい C する 再起動後に有効になります キージェネレータ	ールの設定は す。
選択 文字列 C 1 00-00-00-00 WEPキー C 2 00-00-00-00 C 3 00-00-00-00 C 4 00-00-00-00	
MACアドレスセキュリティー設定	登録/取消▲
MACアドレスセキュリティーを使用 でしない Oする	この項目の設定は 再起動後に有効に なります。
本体無線部のMACアドレス -01-9C	
豆球の ら加 MACアドレス	追加
現在の登録 登録済みの端末 受信中の端末 通信状況 ※本製品の再起動を開始します。	

登録後、表示する画面で設定内容を確認して、設定画面を閉じます。



設定画面の構成

本製品のWWWブラウザによる設定画面の構成についてまとめています。

設定画面の構成

回線と接続 (第1章)	接続状況 (1.)		専用線接続状況	
	詳細設定 (2.)	接続 (2-1.)	接続設定	
		WAN設定 (2-2.)	WANインターフェース設定	
		アドレス変換 (2-3.)	アドレス変換設定	静的NATテーブル設定
	回線設定 (3.)		回線設定	
本体設定と管理 (第2章)	本体管理設定(1.)		管理者ID設定	使用者ID設定(使用者1~4)
	SYSLOG設定 (2.)		SYSLOG設定	
	時計設定 (5.)		内部時計設定	自動時計設定
ネットワーク (第3章)	本体ネットワーク設定 (1.)		本体名称/IPアドレス設定 DHCPサーバ設定	リモートアクセス用IP設定 静的DHCPサーバ設定
	無線LAN設定 (2.)		無線LAN設定 MACアドレスセキュリティー設定	無線詳細設定
	簡易DNSサーバ設定((3.)	DNSサーバ設定	簡易DNSサーバ設定
	IPフィルタ設定 (4.)		IPフィルタ設定	
	RIP設定 (5.)		RIP設定	RIPフィルタ設定
	ルーティング設定 (6.)		ネットワークインターフェイスリスト スタティックルーティング設定	IP経路情報
通信記録 (第4章)	通信記録 (1.)		通信記録	
保存と記録 (第5章)	設定初期化 (1.)		設定初期化	
	設定保存 (2.)		設定保存	



I

9

E



取扱説明書 応 用 編^{11Mbps ISDN無線ルータ} ■ LD-WL11/RT

第5部

ネットワークの設定例集

1.	セレクトルーティングを設定する	1
2.	URLフィルターとして設定する	

1. セレクトルーティングを設定する

【条件】

IPアドレス:192.168.1.10の パソコンが、メールサーバ: popmail.laneed.co.jpからメー ルを受信する場合、PPP01に 設定された接続先を自動接続に て経由し、通信を行う。

popmail.laneed.co.jp			-	192.168.1.10
□△○.laneed.co.jp				92.168.1.11
()×△.laneed.co.jp	~	メールデータ		192.168.1.12
OOO.laneed.co.jp	プロバイダー ろ称:PPP01	ISDN ダイヤルアップ [自動接続]	n-9	192.168.1.13
×××.laneed.co.jp				192.168.1.14
△△△.laneed.co.jp				192.168.1.15
Ianeed.co.jp				

【手順】 1 -記曲 ペーン

1.設定ページを開く

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバー に指定します。

※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。

	🚰 LD-WL11/RT設定ページ - Microsoft Internet Explorer							
] ファイル(<u>E</u>)	編集(<u>E</u>)	表示⊙	お気に入り(<u>A</u>)	ツール①	ヘルプ(円)		
	↓ 中 戻る	. → 進む	- (¢	2 👔 止 更新	(山) ホーム	② 検索	*** お気に入り	() 履[
1. http://192.168.1.1/	אדאדן 🖉	http://19	92.168.1.1/					
を指定	Lan	eed						
				1 1 1		1 14		
	flic	@ Ha	wk					
	ISDN W	ireless Ro	outer	IJ	れの接続	試え おおんちょう	示しています	す。 回 接続
		4.4 / 127		- 13	完全之子(/)1日	うけいこう りゃ	痘 八 アロ1間のに	
	LD-WL	_11/RT 	- . 0.71		まれ元ケモクリュミ	シリリレース りょ	〒 2010/2010/2010/2010/2010/2010/2010/201</td <td>の時</td>	の時

1. セレクトルーティングを設定する(つづき)

2.セレクトルーティングの設定 <ネットワーク>メニューの<ルーティング設定>をクリックし、セレ クトルーティングを設定します。

		ネットワーク インターフェイス リスト						
		インシ	ターフェイス	IPアドレス	ネットマス	スク		
		local		192.168.1.1 255.255.255.0				
		IP経路情報						
		宛先	ネットマスク	ゲートウェイ	ネット 作成	メトリック		
		192.168.1.0	255.255.255.0	192.168.1.1	local static	0		
		192.168.1.0	255.255.255.255	255.255.255.255	local misc	0		
		192.168.1.1	255.255.255.255	192.168.1.1	local static	0		
		192.168.1.255	255.255.255.255	255.255.255.255	local misc	0		
		スタティックルー	ティング設定					
	<u> </u>	登録の追加						
<u> </u>	シリッシ		宛先	ネットマスク ゲー	ートウェイ メトリッ	ク値		
1	[01]を入力					追加		
<u> </u>		現住の登録	家生	ネットフフク ゲ、	-kÖ = 7	力结		
2.	「自動発信」を選択		28/L	*91322		21 0		
		セレクトルーティ	ング					
3.	PPPUI]を選択			01 設定 編集				
		接続方法		手動発信 ▼) 拒絶する"を選択した	場合は全ての経路に対して適用	用されます		
4.	192.100.1.1012	経路		01:PPP01 🔹 🔵				
	入力	発信元IPアドレス	⊳ (192.168.1.10				
		ブロトコル制御		TCP · ボート番号 [1]				
5.	「TCP」を選択し、ポー	宛先ロアドレスまた	はドメイン名	popmail.laneed.co.jp				
		ヤレクトルーティック	ブを使用する時間帯					
	下田与に「「「」で八八	終了時刻で強制比別	ビルクロナ ロロー	●./:. (する)				
6	[nonmail langed on	中学了 \$45.84 C J 量前5 9/2	4	0012010912				
10.	rpopriali.iarieeu.co.	番号経路接続力	「法 <mark>発信元IPアドレス</mark> 」	プロトコル制御ポート番号	宛先IPアドレスまたはh	[×] メイン名 <mark>使用</mark>		
	ip」を入力	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						

■フィルター設定表示

 番号
 経路
 接続方法
 接信
 アドレスプロトコル制御
 本ート番号
 短光
 PF
 <thP</th>
 <thP</th>
 <thP</th>

2. URLフィルターとして設定する 【条件】 192.168.1.10 IPアドレス:192.168.1.12~ popmail.laneed.co.jp 15のパソコンが、ドメイン名: laneed.co.jpとなるサーバへの 1/92.168.1.11 接続を、拒絶する。 □△○.laneed.co.jp 192.168.1.12 ()×△.laneed.co.jp HE A H ISDN 192.168.1.13 ダ イヤルアッ 000.laneed.co.jp プロバイダー Ē 名称:PPP01 ·····×··· ルータ IPアドレス: 192.168.1.12~15 のパソコンはドメイン ×××.laneed.co.ip 192.168.1.14 名がlaneed.co.jpとな るサーバーへは通信を 拒絶 △△△.laneed.co.jp 192.168.1.15 /mmmuuma

【手順】 1.設定ページを開く

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバー に指定します。

※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。

🚈 LD-WL11/RT設定ページ - Microsoft Internet Explorer



2. URLフィルターとして設定する(つづき)

2.セレクトルーティングの設定 <ネットワーク>メニューの<ルーティング設定>をクリックし、URL フィルターとして動作するように設定します。

		ネットワーク インターフェイス リスト									
			インター	フェイス		IPアドレス			ネットマスク		
			local		192.	192.168.1.1 255.255.255.0					
			IP経路情報								
			宛先	ネット	マスク	ゲートウ	・エイ	ネット	作成	メトリック	
			192.168.1.0	255.255.255.0)	192.168.1.1		local	static	C	
			192.168.1.0	255.255.255.2	:55	255.255.255.255	j	local	misc	0	
			192.168.1.1	255.255.255.2	255	192.168.1.1		local	static	(
			192.168.1.255	255.255.255.2	255	255.255.255.255	j	local	misc	(
			スタティックルーティ	いグ設定							
4.	「192.168.1.15」を		安邦の近日川 経界政	宛先	1	ミットマスク	ゲート	ウェイ	카니까	ケ値	
	7 + 1	\sim		7676		-51 (5(5		7 1 1	21 72.		
	入/]		現在の登録	1			1		L	100,000	
7.	クリック		経路	宛先	7	ペットマスク	ゲート	ウェイ	メトリック	7値	
1.	「02」を入力		セレクトルーティング	rj							
			番号			設定編集					
2.	拒絶する」を選択		接続方法		→ (拒絶す	る 1 拒絶する" ?	2選択した場合	計ま全ての経	路に対して適用	は れます	
	[100 100 1 10]+		経路		01:PF	P01 -					
3.	192.168.1.121&		発信元IPアドレス		-> (192.16	8.1.12	168.1.15	D			
	入力		ブロトコル制御			ない 🔳 ポート	番号	<u> </u>			
			宛先IPアドレスまたは下	・メイン名	(*.lanes	ed.co.jp					
5.	「使用しない」を選択		セレクトルーティングを	使用する時間	世 100 :	00 ~ 00 : 00					
			終了時刻で強制切断			ふ のする					
6.	「*.laneed.co.jp」を										
	7 1 1		番号 経路	接続方法系	修信元IPアド	レスプロトコル	制御 <mark>ポー</mark>	ト番号宛	先IPアドレ:	スまたはドメイ	
	7/]		削除 01 01:PPP01	手動発信	192.168.1.10) TCP	1	10	popmai	il laneed.co.jp	

■フィルター設定表示

 番号
 経路
 接続方法
 発信元PPアドレス
 プロトコル制御
 ボート番号物先PPアドレスまたはドメイン名
 使用する時間帯
 強制防御

 NME
 01
 01
 01:PPP01
 手勤発信
 192:168.1:10
 TCP
 110
 popmaillaneed.co.jp
 00:00 - 00:00
 レズu

 NME
 02
 拒絶する
 192:168.1:12 - 192:168.1:15
 使用レズu
 *laneed.co.jp
 00:00 - 00:00
 レズu

■ ご参考に

WEBアクセス専用(TCP/80)や、メール受信専用(TCP/110)に設定 した状態でも、その前に名前の解決(UDP/53)が発生するときには、 既存のルーティングテーブルを使用します。

たとえば、TCP/110で、PPP01をメール受信専用に作成している 状態でも、メールサーバへの名前の解決には、既存の自動接続設定に したがいます。

PPP02が既存の自動接続に設定されているときは、まずPPP02に 自動接続して、名前を解決します。そのあと、PPP01に自動接続さ れて、メールの受信が行われます。

このような動作を避けるためには、メール用アプリケーションでの受信サーバアドレスの設定を、ドメイン名ではなくIPアドレスで行うか、 簡易DNSサーバ機能を利用して、受信サーバ名とIPアドレスを事前 に設定しておくことで回避できます。

ご使用になる受信サーバのIPアドレスが不明なときは、本製品に付属のソフトウェア(IP Name:☞第8部 付属ソフトウェアについて)を利用することで調べられます。



I

9

E



取扱説明書 応 用 編^{11Mbps ISDN無線ルータ} ■ LD-WL11/RT

第6部 無線LANの設定例集

アクセスポイント機能を設定する
A 無線端末から設定する場合
図 有線端末から設定する場合4
ローミング機能を設定する
■ ルータAの設定
■ ルータBの設定10

1. アクセスポイント機能を設定する

A 無線端末から設定する場合

【ルータの条件】

- ●回線への接続はしない
- ESS ID : elecom
- ●DHCPサーバ機能を使用して、 IPアドレスを自動的に無線端末 と有線端末に割り当てる

【無線端末A~Cの条件】

- ESS ID : elecom
- DHCPクライアント機能を使用して、ルータよりIPアドレスを取得

【有線端末A~Cの条件】

DHCPクライアント機能を使用して、ルータよりIPアドレスを取得

【手順】

1.設定ページを開く

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバーに指定します。

※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。

有線端末と無線端末の合計台数が30台を超える場合は、DHCPの自動割り当て個数の



変更が必要です。



1

2.管理者IDの設定

必要であれば設定します。

<本体設定と管理>メニューをクリックし、管理者ID、管理者パスワー ドを設定します。

3. クリック		
1 router	管理者ID設定 管理者ID	router
2. 任意の英数字を入力	管理者バスワード	****
※入力値は表示されま	使用者ID設定	登録√取消▲
せん。	♥用者ID 使用者バスワード	
	 (史) バスワードの確認人力 用 手動接続・切断を許可 者 特殊時空気集を批可 	する CLTIN CTZ
	4 個人では、10 し、10 個人では、10 個人では、	©しない 095 ©しない 095
	使 パスワートの確認入り 用 手動接続・切断を許可 者 持法設定復集を許可	する のしたわ、 のする
	2 通信記録表示・クリアを許可	0011093 0011073
	医ハスワートの確認人力	

3.本体名称の設定

必要であれば設定します。

<ネットワーク>メニューをクリックし、本体名称を以下のように設定 します。

2. クリック ►	登録 取消 登録して再起動 この	Dページの設定は再起動後に有効	かになります。
	本体名称/IPアドレス設定		
1. WL11BT(任意でよい)	本体名称	WL11RT	
	IPアドレス	192.168.1.1	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	リモートアクセス用IP設定		登録/取消▲
	リモートアクセスサ <i>ーバ</i> を使用	⊙しない ○する	
	IPアドレス1		DHCPの割り当て範囲と
	IPアドレス2		重ならないように設定します。
	DHCPサーバ設定		登録/取消▲
	DHCPサーバ機能を使用	○しない ⊙する	
	割り当て開始IPアドレス	192.168.1.10	
	割り当て個数	30 1固	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	リース期間	3	
	ドメイン名		
	ブライマリDNSサーバ		DNSサーバの代理応答機能を
	セカンダリDNSサーバ		使用する場合は無効となります。
	プライマリWINSサーバ		
	セカンダリWINSサーバ		
	静的DHCPサーバ設定		登録/取消▲
	登録の追加		
			IPアドレス
			追加
	現在の登録		
	MACアドレス		IPアドレス

4.無線LANセキュリティーの設定 <無線LAN設定>をクリックし、無線LANに関して、以下のように設定します。

この画面で設定するESS IDを出荷時の設定(半角英文字:Laneed)で 使うと、ほかの端末から不正にアクセスされるおそれがありますので、 変更することをお勧めします。

無線端末から、本製品のESS IDの設定を変更するときは、この手順 で<登録して再起動>操作を行ってから、無線端末のESS IDを同じ値 に変更してください。

変更後、無線端末を再起動します。

2. クリック	登録 取 登録して再起動	レス登録およびWEPキー以外の 更起動後に有効になります。	設定は	
1. 「elecom」を入力	無線LAN設定			
※入力値は表示されま	ESS ID ESS IDの確認入力	*****	この項目の設定は 再起動後に有効に なります。	
せん。	無線詳細設定		登録/取消▲	
	チャンネル	6 💌		
	Rts/Ctsスレッシュホール	無し 🔍	チャンネル フレッシュホール	の設定は
	WEPキーを使用	⊙しない ○する	再起動後に有効になります。	~ > ax xel 6
	キージェネレータ			
	WEP‡-	選択 文字列 © 1 00-00-00-00 C 2 00-00-00-00 C 3 00-00-00-00 C 4 00-00-00-00		
	MACアドレスセキュリティ・	一設定	ž	٤録/取消▲
	MACアドレスセキュリティーを使用		 ○したい ○する 再起動後に有効なります。 	
	本体無線部のMACアドレス	20-00-	-01-9C	
	登録の追加			
	MACアドレス]		追加
	現在の登録			
	登録済みの端末	受信中の端末	通信状況	
	※本製品の再起動な 再起動後、無線域 さい。	を開始します。 湍末のESS IDを本	製品と同じ内容に	こ変更してくだ
5.動作モードの確認	無線端末のESS IC WWWブラウザを調)を変更後に行ってく 己動して、「http:// ¹	ください。 192.168.1.1」マ	をアドレスバー

に指定します。

※手順1.と同じ画面を表示します。

国有線端末から設定する場合

【ルータの条件】

- ●回線への接続はしない
- ESS ID : elecom
- ●DHCPサーバ機能を使用して、 IPアドレスを自動的に無線端 末と有線端末に割り当てる

【無線端末A~Cの条件】

- ESS ID : elecom
- ●DHCPクライアント機能を使 用して、ルータよりIPアドレ スを取得

【有線端末A~Cの条件】

●DHCPクライアント機能を使 用して、ルータよりIPアドレ スを取得

【手順】

1.設定ページを開く

 無線端末A
 設定用有線端末A

 無線端末B
 ESS ID : elecom

 無線端末B
 192.168.1.1

 無線端末C
 人の方

 無線端末C
 人の方

 正式
 日本

 最大収容可能台数 : 64台

有線端末と無線端末の合計台数が30台を超える場合は、DHCPの自動割り当て個数の 変更が必要です。

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバーに指定します。

※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。



2.管理者IDの設定

必要であれば設定します。

<本体設定と管理>メニューをクリックし、管理者ID、管理者パスワードを設定します。

З.	クリック	►(登録	📲 💷 Hawkfir a 🕮	
1.	router	1	管理 管理:	者ID設定 BID → → → → → → → → → → → → → → → → → → →	router
2.	任意の英数字を入力	 	管理: バス!	者バスワード ワードの確認人力	****
	※入力値は表示されま		使用	者ID設定	登録/取消▲
	せん。			使用者ID 使用者バスワード	
			使 用	バスワードの確認入力 手動接続・切断を許可	する
			者 1	接続設定編集を許可	したい
				通lactiv表示、シリアを計り 使用者ID	
			_	使用者バスワード	
				$\sim \sim$	\sim

3.本体名称の設定

必要であれば設定します。

<ネットワーク>メニューをクリックし、本体名称を以下のように設定します。

2. クリック 🛃	登録 取消 登録して再起動 こ	のページの設定は再起動後に有	効になります。
	本体名称/IPアドレス設定		
1. WL11BT(任意でよい) -	本体名称		
	IPアドレス	192.168.1.1	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	リモートアクセス用IP設定		登録/取消▲
	リモートアクセスサ <i>ーバ</i> を使用	のしない のする	
	IPアドレス1		DHCPの割り当て範囲と
	IPアドレス2		重ならないように設定します。
	DHCPサーバ設定		登録/取消▲
	DHCPサーバ機能を使用	○しない ⊙する	
	割り当て開始IPアドレス	192.168.1.10	
	割り当て個数	30 (固	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	リース期間	3	
	ドメイン名		
	ブライマリDNSサーバ		DNSサーバの代理応答機能を
	セカンダリDNSサーバ		使用する場合は無効となります。
	ブライマリWINSサーバ		
	セカンダリWINSサーバ		
	静的DHCPサーバ設定		登録/取消▲
	登録の追加		
			追加
	現在の登録		
	MACTFUR		IPTFUA

4.無線LANセキュリティーの設定 <無線LAN設定>をクリックし、無線LANに関して、以下のように設定します。

この画面で設定するESS IDを出荷時の設定(半角英文字:Laneed)で 使うと、ほかの端末から不正にアクセスされるおそれがありますので、 変更することをお勧めします。

本製品のESS IDの設定を変更するときは、この手順で<登録して再起動>操作を行ってから、本製品と通信する無線端末のESS IDを、本製品と同じ値に変更してください。

2. クリック	● □ □ ● □ ● □ ● □ ● □ ● □ ● □ ● □ ● □ ●	ドレス登録およびWEPキ	⊨ー以外の設定は F。			
1. [elecom」を入力	毎線IAN設定					
※入力値は表示されま	ESSID	*****	この項目の設定は			
#6.	ESS IDの確認入力	*****	日起動物に有効に			
2700	無線詳細設定		登録/取消▲			
	チャンネル Rts/Ctsスレッシュホール WEPキーを使用	6 ・ 無し ・ のしない のする	チャンネル、スレッ: 再起動後に有効に	シュホールの設定は なります。		
	キージェネレータ					
	WEP+-	選択 文字列 C 1 00-00-00- C 2 00-00-00- C 3 00-00-00- C 4 00-00-00-	00-00 00-00 00-00 00-00			
	MACアドレスセキュリティー	一設定		登録/取消▲		
	MACアドレスセキュリティーを使	「用	⊙しばい ○する	この項目の設定は 再起動後に有効に なります。		
	本体無線部のMACアドレス		-01-9C	-01-9C		
	登録の追加					
	MACTFUZ			追加		
	現在の登録 登録済みの端末	受信中の端末	通信状況			
	※本製品の再起動な ※再起動後、無線並 さい。	E開始します。 湍末のESS ID	を本製品と同じ	内容に変更してくた		

5.動作モードの確認

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバ ーに指定します。

※手順1.と同じ画面を表示します。

有線端末C

2. ローミング機能を設定する

ここでは、有線端末を個々のルータに接続して、設定することを前提 に説明します。

有線端末B

全設定完了後、図のように接続してください。

次の動作モードで、ルータが動作するよう設定する手順です。

◎ルータA:ダイヤルアップルータ

◎ルータB:アクセスポイント専用

設定用有線端末A

192.168.1.10

【ルータAの条件】

- ●回線(ISDNダイヤルアップイ ンターネット)接続する
- ESS ID : elecom
- ●DHCPサーバ機能を使用して、 IPアドレスを自動的に無線端 末と有線端末に割り当てる

【ルータBの条件】

- ●回線への接続はしない
- ESS ID : elecom
- DHCPサーバ機能を使用:

しない

【無線端末A~Cの条件】

- ESS ID : elecom
- DHCPクライアント機能を使用して、ルータAよりIPアドレスを取得

【有線端末A~Cの条件】

●DHCPクライアント機能を使 用して、ルータAよりIPアドレ スを取得

■ルータAの設定

【手順】

1.設定ページを開く

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバーに指定します。

※本製品のIPアドレスは、出荷時の状態(192.168.1.1)とします。





2.接続先設定

<接続先の追加>をクリックし、プロバイダー情報を以下のように入力 します。

7.	クリック →				
		接続設定			
1.	aaa(任意でよい) –	接続先名		-	
	1004507000	電話番号1		1234567890	* 以降はサブアドレス
2.	1234567890	電話番号2			* 以降はサブアドレス
		電話番号3			* 以降はサブアドレス
3.	user –	ユーザID		► user	
		バスワード		(******	
4.	himitu	認証ブロトコル		相手に合わせる 💌	
	(書云:*******)	デフォルトGWを構築		○しない ⊙する	
	(我小:******)	コールバック要求		しない 💌	
<u> </u>		コールバック電話番号			* 以降はサブアドレス
5.	192.169.100.10	プライマリDNSサーバ	>	(192.169.100.10	
	100 100 101 15	セカンダリDNSサーバ		(192.169.101.15	
ю.	192.169.101.15	スループットBOD			登錄/取消▲
		BODを使用		⊙しない 0する	BODを使用するには、 通信速度を可変にしておく 必要があります。
		移行	1B→2B	75 %	55~95の範囲で記載
		トラフィック量	2B→1B	25 %	5~45の範囲で記載

※マルチダイヤル機能(☞取扱説明書[応用編] 第1部 P3)を使用す る場合は、「電話番号2」、「電話番号3」も入力が必要です。 ※「5.プライマリDNSサーバアドレス」、「6.セカンダリDNSサーバア ドレス」は、プロバイダーから指定されている場合に入力します。

3.管理者IDの設定

-

6 611

必要であれば設定します。

<本体設定と管理>メニューをクリックし、管理者ID、管理者パスワードを入力します。

する ⊙しない ೧する

⊙しない ○する

3. 9999		
1. router(任意)	管理者ID設定 管理者ID 管理者バスワード	Fouter
2. 任意の英数字を入力	バスワードの確認入力 使用者ID設定	**** 登録/取消▲
※人刀値は表示されま せん。	 使用者ID 使用者バスワード 使用者バスワード イスワードの確認入力 用 手動接続・切断を許可 者 接続報告編集を執可 	
	1 通信記録表示・クリアを許可 通信記録表示・クリアを許可 使用者バスワード 使用者バスワード 使用者がスワード 使用者がなり下の確認入力 用 手動技術・切断を許可 者 接続設定編集を許可	
	2 通信記録表示・クリアを許可 使用者ID	@Uii) CJS

使用者バスワード バスワードの確認入力 手動接続・切断を許可

接続設定編集を許可 通信記録表示・クリアを許可

使用者ID 使用者バスワ

4.本体名称の設定

必要であれば設定します。 <ネットワーク>メニューをクリックし、本体名称を入力します。

2.	クリック		登録して再起動	このページの設定は再起動	後に有効になります。	W Hau
		本体名称。	/IPアドレス設定			
1	WI 11BT(任音で上い)	本体名称		WL11RT		
1.		IP7ドレス		192.168.1.1		
		サブネットマ	スク	255.255.255.0		
		リモートア・	クセス用IP設定		登録/取消▲	
		リモートアク	セスサーバ を使用	のしない のする		
		IPアドレス1			DHCPの割り当て範囲と	
		IPアドレス2			重ならないように設定します。	
		DHCPサ・	ーバ設定		登録/取消▲	
		DHCPサー	、機能を使用	○しない ⊙する		
		割り当て開始	省IPアドレス	192.168.1.10		
						\sim
			\sim	\sim \sim	\sim	\sim

5.無線LAN設定 <無線LAN設定>をクリックし、無線LANに関して以下のように入力 します。

この画面で設定するESS IDを出荷時の設定(半角英文字:Laneed)で 使うと、ほかの無線端末から不正にアクセスされるおそれがあります ので、変更することをおすすめします。

無線端末から、本製品のESS IDの設定を変更するときは、本手順で <登録して再起動>操作を行ってから、本製品と通信する無線端末の ESS IDを、本製品と同じ値に変更してください。 変更後、無線端末を再起動します。

2.	クリック	登録して再起動	ドレス登録およびWEP= 更起動後に有効になります	キー以外の設定 す。	a whfi		
1.	任意の英数字を入力	無線LAN設定					
	※入力値は表示されま	ESS ID ESS IDの確認入力	****** ******		この項目の設定は 再起動後に有効に なります。		
	せん。	無線詳細設定	登録╱取消◢		登録/取消▲		
		チャンネル Rts/Ctsスレッシュホール WEPキーを使用 キージェネレータ	6 • 無し • のしない のする				
		WEP+-	選択 文字列 ● 1 00-00-00- C 2 00-00-00- C 3 00-00-00- C 4 00-00-00-	文字列 00-00-00-00-00 00-00-00-00-00 00-00-00-			
		MACアドレスセキュリティー	設定			登録/取消 <u>▲</u>	
		MACアドレスセキュリティーを使用 のしばみ		ಂಟ್ಮು ರ	する	この項目の設定は 再起動後に有効に なります。	
		本体無線部のMACアドレス		8-80-CT-0	-01-9C		
		登録の追加					
		MAC7FUZ			追加		
		現在の登録					
		登録済みの端末 受信中の端末			通信状況		
				- 11			

※再起動後、設定ページを閉じて、ルータBの設定を行います。

■ルータBの設定

【手順】

1.設定ページを開く

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバーに指定します。

※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。



2.管理者IDの設定

必要であれば設定します。

<本体設定と管理>メニューをクリックし、管理者ID、管理者パスワードを設定します。

3.	クリック	► (23				
		答	囲老口設定			
1.	router	<u></u> 管理		► (router		
H		管理	里者バスワード	****		
2.	仕意の英数字を人力	バラ	ヘワードの確認入力			
	※入力値は表示されま	使	用者ID設定	登録/取消▲		
	#6.		使用者ID			
	2708		使用者バスワード			
		使	バスワードの確認入力			
		用	手動接続・切断を許可	する		
		1	接続設定編集を許可	⊙しない ○する		
		· ·	通信記録表示・クリアを許可	⊙しない ○する		
			使用者ID			
		- T	使用者バスワード			
		使	パスワードの確認入力			
		用	手動接続・切断を許可	する		
		者の	接続設定編集を許可	⊙しない ○する		
		2	通信記録表示・クリアを許可	⊙しない ○する		
		_	使用者ID			
		-	使用者バスワード			
		使	バスワードの確認入力			
		用	手動接続・切断を許可	する		
		者。	接続設定編集を許可	0U111 0J3		
		3	通信記録表示・クリアを許可	00/11 0J3		
			使用者口			

3.本体名称の設定

<ネットワーク>メニューをクリックし、本体名称を以下のように設定します。

4. クリック	・ 登録 取消 登録して再起動 このページの設定は再起動後に有効になります。		
1. WL11RT_B ※ルータAと重複しな いようにします。	本体名称/IPアドレス設定 本体名称 ▶ IPアドレス サブネットマスク リモートアクセス用IP設定	<u>VL11RT_B</u> 92.168 1.2 55.2 55.255.0 登禄∕取清▲	
 192.168.1.2 ※IPアドレスには、ルータAとネットワーク部が同じで、ルータAが自動で割り当てるアドレス範囲と重ならないように、ホスト部の番号が異なるIPアドレスを手動で割り当てます。 	リモートアクセスワーバ を使用 IPアドレス1 IPアドレス2 DHCPサーバ設定 DHCPサーバ機能を使用 割り当て間ぬIPアドレス 割り当て個数 サブネットマスク リース期間 ドメイン名 ブライマリDNSサーバ ブラマリWINSサーバ ブラマジWINSサーバ	 ●しない C する ● DHCPの割り当て範囲と 重ならないように設定します。 ● 算法/取消▲ ● しない、 する ● 168:1.100 ● 168:1.100 ● 168:1.100 ● 168:1.100 ● 168:1.100 ● 168:1.100 ● 169:1.100 ● 169:1.100	
3. 「しない」を選択	<mark>静的DHCPサーバ設定</mark> 登録の追加 MACアドレス	 登録/取済▲ IPアドレス 	
	現在の登録 MACアドレス	<u>追加</u> IPアドレス	
2. ローミング機能を設定する(つづき)

2.

1.

クリック

「WL11RT」を入力

4.無線LANセキュリティーの設定 <無線LAN設定>をクリックし、無線LANに関して、以下のように設 定します。

> この画面で設定するESS IDを出荷時の設定(半角英文字: Laneed)で 使うと、ほかの端末から不正にアクセスされるおそれがありますので、 変更することをお勧めします。

> 金録して再起動
> 「ドレス登録あよびWEPキー以外の設定は
> 武器
> 武器
> 「「「「「」」」
> 「」
> 武器
> 前記動物能に有効になります。

「WL11RT」を入力	無線LAN設定					
※入力値は表示されま — ++	ESS ID ESS IDの確認入力	******		この項目の設定は 再起動後に有効に なります。		
じん。	無線詳細設定			登録/取消▲		
	チャンネル Rts/Ctsスレッシュホール WEPキーを使用 キージェネレータ	6 • 無し • のしない のする]	チャンネル、スレッシュホ 再起動後に有効になります	ールの設定は す。	
	WEP+-	選択 文字列 1 00-00-00-00 2 00-00-00-00 3 00-00-00-00 4 00-00-00-00 				
	MACアドレスセキュリティー設	定			登録/取消 <u>▲</u>	
	MACアドレスセキュリティーを使用		⊙しない ○する		この項目の設定は 再起動後に有効に なります。	
	本体無線部のMACアドレス		B-80-C1-	-01-9C		
	登録の追加					
	МАСアドレス				追加	
	現在の登録 登録済みの端末	受信中の端末		通信状況		

※本製品の再起動を開始します。



手順3.で、DHCPサーバ機能を使用しない設定に変更したため、現在、 接続されているパソコンから、ルータBの設定内容を確認するには、 そのパソコンのIPアドレスを手動で設定してから、または、ルータA とルータBを図(IIPE)のように接続してから、WWWブラウザより、 設定ページにアクセスしてください。

パソコンのIPアドレスを手動で設定するには、取扱説明書[基本編] 第 3章の手順にしたがい、設定を「IPアドレスを指定」に変更して、IPア ドレス、サブネットマスクを設定(手入力:アドレスが重複しないこ と)したのち、再起動する必要があります。

※約10秒経過して、	右の画面を
表示します。	



I

9

E



取扱説明書 応 用 編^{11Mbps ISDN無線ルータ} ■ LD-WL11/RT

第7部

アナログポートの設定例集

1.	フレックスホン機能を利用する	1
	■ コールウェイティング	1
	【電話機の操作】	3
	■ 通信中転送	4
	【電話機の操作】	6
	■ 三者通話	7
	【電話機の操作】	9
	Ⅰ 切り替えモード	9
	回 ミキシングモード	10
	■ 着信転送	
2.	優先着信	14
З.	アナログ機器を鳴り分ける	
	■ ダイヤルインサービスの利用	16
	■ i・ナンバーサービスの利用	
	■ なりわけ着信サービスの利用	21
	■ サブアドレスの利用	23
	■ セレクト着信の利用	25
	 ■ i・ナンバーサービスの利用 ■ なりわけ着信サービスの利用 ■ サブアドレスの利用 ■ セレクト着信の利用 	······19 ·····21 ·····23



1. フレックスホン機能を利用する

フレックスホン機能とは、コールウェイティング、通信中転送、三者 通話、および着信転送をとりまとめた総称です。

これらを利用するには、NTTとの契約が必要ですが、本製品を使うと、 契約なしで、ほぼ同等の機能を利用することができます。

■ コールウェイティング 【条件】

TEL1と外線(A)で通話中に、新たにかかってきた電話(外線(B))を音で知らせ、外線(A)との通話を切断することなく外線(B)に応答する。



注意!:フレックスホン機能を「疑似」に設定する場合で、一方のアナ ログ機器が通話中、または本製品に接続されたパソコンが通 信中のときは、コールウェイティングは利用できません。

【手順】 1.設定ページを開く

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバー に指定します。

※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。



1. フレックスホン機能を利用する~■ コールウェイティング(つづき)

2.コールウェイティングを設定 <アナログ設定>メニューをクリックして、「コールウェイティング」を 「する」に設定します。

3. クリック			
	内線通話		
	内線通話の使用設定	内線転送を使用する	•
	フレックスホンの設定	登録/取消▲	
コールまわれた際中国	(注意)NTTフレックスホンをご使	用になる場合はNTTとの契約が必要	et.
1. いずれかを選択	フレックスホン機能		「日本の契約による」
	コール・フェイティノク		
	通信中転达 三去通話	00/a) 090 01/1) 075	ックにしため目は ポート毎の見までで 通話の目に差信をなり発気からたい。
	着信転送	ಂಟ್ರಾಂ ೦,5	通話中に看信めると音での知らせか。 するに設定されます.
	優先着信 _{登録} /	取消▲	
	優先着信	すべてのポートに着信 マ	時間差優先著信が
	時間差優先着信	02 秒	○秒の時は優先ポートのみ 著信します。
	リソースBOD		
	発信割り込みを使用		のしない こする
	受信割り込みを使用		⊚しない ○する
3. ノッキング判定時間の設定	<小一トーの設定)	>をクリックして、	通話中に宿信かめると音での知
	らせ」と「フッキン	・グ判定時間」(時間は	(任意)を設定します。
3. クリック	● 登録 取消		
	ポート毎の設定		
	回線番号(ダイヤルイン番号)	*サブアドレス	けンバー
	1本文字148日2月1日第三日	上 バーディフプロ	□1 □2 □3
	標準設定 ▼	対応しない	
		0する のしない	
	ボート使用設定	発着信で使用 💌	
	受話音量 送話音計 標準 ▼	■ 外線呼出音 呼出音1 ▼	内線呼出音
	なりわけ着信機能	なりわけ呼出音	
	着信拒否する 🔽	呼出音1 💌	

着信機能 グローバル着信 ⊙する へしない のする のしない セレクト着信 通話中に着信があると のする つしない 「する」を選択 音でお知らせ 発信者番号通知 ⊙する 0しない 高位レイヤ整合性をつけて発信 ○する ⊙しない ダイヤルタイミング ダイヤル待ち時間 5 秒 ►

●
●
● フッキング判定時間 1秒(任意でよい) 着信転送 転送トーキ ⊙あり ○なし 転送元トーキ ⊙あり ○なし 起動タイミング 呼出回数 🛛 🛛 即、起動 💌

<登録>をクリックして、設定ページを閉じます。

※TEL2でもコールウェイティングを利用する場合は、<ポート2の設定>をクリックして、同様に設定します。

1.

2.

1. フレックスホン機能を利用する~■ コールウェイティング(つづき)

【電話機の操作】

- 通話中に外線(B)がかかってくると、TEL1の受 話器から「ププ・・・」と話中着信音が外線(A)の声 に混じって聞こえます。
- 2.TEL1のフックスイッチを1回だけ、短く押しま す(フッキング)。このとき、[ポート1の設定]画 面で設定した「フッキング判定時間」より長く押 すと、TEL1と外線(A)との通話が切断されます ので、ご注意ください。
- 3.通話中に電話をかけてきた外線(B)と通話しま す。
- **4.**もう一度、TEL1をフッキングします。TEL1の 受話器から「プ・プ・・・」と第二発信音が聞こえ、 外線(B)との通話を保留します。
- 5.さらにTEL1をフッキングし、外線(A)との通話 を再開します。 以後、フッキングするたびに、保留(第二発信音 が聞こえる)状態をはさんで、外線(A)/(B)を交 互に切り替えます。
- 6.通話が終了したら、TEL1の受話器を戻し、外線(A)または外線(B)との通話を切断します。
 - ※保留中の相手がいる場合は、TEL1の呼出音 が、「トゥルル・・・」と鳴ります。TEL1の受話 器を取ることで、保留中の外線と通話できま す。
 - ※保留中の相手がいるときに、通話中の相手が 通話を切断した場合は、TEL1の受話器から 「プー・・・」と話し中音が聞こえます。このとき もTEL1をフッキングすることで保留中の外 線と通話できます。



1. フレックスホン機能を利用する(つづき)

■ 通信中転送 【条件】 外線(A) TEL1 外線(A)からの着信をTEL1で応 答し、外線(A)との通話を切断す ることなく外線(B)に転送する。 通話を保留 ISDN 公衆電話回線 3)外線(A)と外線(B)の通話((2)外線(B)を呼び出し 外線(B) TEL 2 注意!:フレックスホン機能を「疑似」に設定する場合で、一方のアナ ログ機器が通話中、または本製品に接続されたパソコンが通 信中のときは、通信中転送は利用できません。 本設定例の場合、フレックスホン機能の設定が「疑似」、 「NTTとの契約による」に関係なく、外線(B)への通話料金は、 本製品側に課金されます。 また、外線(A)との通話がTEL1からの発信による場合、外 線(B)を呼び出して転送することはできません。 【手順】 1.設定ページを開く WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバー に指定します。 ※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。 🚈 LD-WL11/RT設定ページ - Microsoft Internet Explorer ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) <u>、</u> お気に入り ീ **②** 検索 **4** - 100 ホーム **中止** 更新 戻る)進む) 履 http://192.168.1.1/ アドレス 🕰 http://192.168.1.1/ 1. を指定 Laneed **Fir @Hawk** ISDN Wireless Router

LD-WL11/RT

🗹 回線と接続

Co.,Ltd

Copyright 2001 ELECOM

Ver. 0.71

現在の接続状況を表示しています。回 接続先の追加により最大20個の接続

チャネル

本体の時

全切断

1. フレックスホン機能を利用する~■ 通信中転送(つづき)

2.通信中転送を設定

<アナログ設定>メニューをクリックして、「通信中転送」を「する」に設定します。

	З.	クリック	_►(登録」取消					
				内線诵話					
				内線通話の使用語	g定	内線転送を使用す	する 🔹		
				フレックスホンの	の設定 ・	録/取消▲			
			_	(注意)NTTフレックス	スホンをご使用になる:	場合はNTTとの契約が	必要です。		
	1.	いずれかを選択		フレックスホン機能	<u> </u>	▶(◎疑似	ONITEとの多	約による	
				コールウェイティ	ング	oltal <u>ota</u>		3似にてコール ウェイティ	ングを
	2.	する」を選択		通信中転送		ः । । । । । । । । । । । । । । । । । । ।) ³	るにした場合は ート毎の設定で	
				三者通詁		oしない 0する	ji a	話中に着信あると音で	お知らせが
				看信転送	1	01711 095	-	u -uncertory:	
				優先着信	登録/取消▲				
				優先着信	[すべてのポートに着信 💌	8	間差優先着信が 私の時は優先ポートの	4
				時間差優先着信	0	12 秒	君	信します。	
				リソースBOD					
				発信割り込みを使	用		0しない	い	
				受信割り込みを使	用		00731	10する	
~	_								
ک .	フッ	キンク判定時間の設定		<ホート10	り設定>をク	′リックして	、 通詁	中に者信か	めると音でお知
				らせしと「フ	ッキング判	定時間 (時間	乳は任意)	を設定しま	ਰ
				561612					
	3.	クリック	►(登録 取消	s menun				
				ポート毎の設定					
				回線番号(ダイヤル	レイン番号)米サブア	かしス		iナンバー	
							-*. <i>i</i>	ポート □1	□2 □3
				接続機器の種類		テンハーティス	フレイ		
				無鳴動着信		0する @ / ね	.)		
				ボート使用設定		発着信で使用 マ			
				受話音量	送話音量	 外線呼出音		内線呼出音	
				標準▼	標準 💌	呼出音1 💌		呼出音1 ▼	
				なりわけ着信機能	_	なりわけ呼出音			
				141816090					
				着信機能					登録/取消▲
				グローバル着信			⊙する Ol	ない	
				セレクト着信			○する ⊙し	/ali	
	2	「する を選択		通話中に着信があ	5ると	 [ota pu	<i>t</i> au	
	<u> </u>			音での知らせ		- (7.47.47.51.4
				送信機能					登録/収済▲
				光信者番号通知	*		ত্বি CL	/al)	
				高位レイア整合性	を ステ (発信		095 01	7al)	
				ダイヤルタイミ	ング				登録/取消▲
				ダイヤル待ち時間			5 秒		
	1.	1秒(任意でよい)		フッキング判定時間	8	►	1 秒		
	L								登録/取消▲
				転送トーキ			⊙あり cな	L	
				転送元トーキ			⊙あり ○な	L	
				起動タイミング			呼出回数 🛛	0	即、起動

<登録>をクリックして、設定ページを閉じます。

※TEL2でも通信中転送を利用する場合は、<ポート2の設定>をクリックして、同様に設定します。

1. フレックスホン機能を利用する~■ 通信中転送(つづき)

【電話機の操作】

- 1.外線(A)との通話中に、TEL1のフックスイッチを1回だけ、短く押します(フッキング)。このとき、[ポート1の設定]画面で設定した「フッキング判定時間」より長く押すと、TEL1と外線(A)との通話が切断されますので、ご注意ください。
- **2.**TEL1の受話器から「プ・プ・・・」と第二発信音が 聞こえ、外線(A)との通話を保留します。
- **3.**転送先である外線(B)の電話番号をダイヤルします。
- 4.外線(B)と通話します。
- 5.外線(B)との通話中に、TEL1をフッキングします。
 TEL1の受話器から「プ・プ・・・」と第二発信音が 聞こえます。
- **6.**TEL1の受話器を戻します。外線(A)と外線(B)の通話を開始します。



1. フレックスホン機能を利用する(つづき)



三者通話には、二人の通話相手と交互に話す「切り替えモード」と、 同時に三人で話せる「ミキシングモード」があります。 本製品は、フレックスホン機能を「疑似」に設定して利用する三者通話 においても、両モードに対応しています。

【条件】

【条件】 外線(A)からの着信をTEL1で応 答し、外線(A)との通話を切断す ることなく新たに外線(B)を呼び 出して三者で通話する。	外線(A) TEL 1 の の の の の の の の の の の の の	
	ISDN 公衆電話回線 ③三者通話に ②外線(B)を呼び出し	
	人	
	注意!:フレックスホン機能を「疑似」に設定する場合で ログ機器が通話中、または本製品に接続された 信中の場合、三者通話は利用できません。 本設定例の場合、フレックスホン機能の設定 「NTTとの契約による」に関係なく、外線(B)へ	"、一方のアナ ニパソコンが通 Eが、「疑似」、 の通話料金は、
	本製品側に課金されます。 また、外線(A)との通話がTEL1からの発信に 線(B)を呼び出して三者通話することはできま†	:よる場合、外 さん。
【手順】 1.設定ページを開く	WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」を に指定します。 ※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1	Eアドレスバー)とします。
1. http://192.168.1.1/ を指定	Laneed	

Flir @Hawk ISDN Wireless Router

LD-WL11/RT

現在の接続状況を表示しています。回 接続先の追加により最大20個の接続

1. フレックスホン機能を利用する~■ 三者通話(つづき)

2.三者通話を設定

<アナログ設定>メニューをクリックして、「三者通話」で「する」を選択します。

3. クリッ	ク				
		内線通話			
		内線通話の使用設定	内線転送を使用する 🔻		
		フレックスホンの設定	登録/取消▲		
		(注意)NTTフレックスホンをご使用に	こなる場合はNTTとの契約が必要です。		
1. いずれ	かを選択 ┣━	ー <mark>フレックスホン機能</mark>	—►(⊙疑似 ONTT	この契約による)	
		コールウェイティング	のしない のする	擬似にてコールウェイティン	ッグを
		通信中転送	のしない のする	するにした場合は ポート毎の設定で	
[2. する]	を選択	三者通話		通話中に着信あると音でま するに設定されます。	5知らせが
-		看信甄远	00710 095	, and and a state of the state	
		優先着信 登錄/取消	i <u>A</u>		
		優先着信	すべてのポートに着信 💌	時間差優先着信が 0秒の時は優先ボートのみ	L.
		時間差優先着信	02 秒	着信します。	
		リソースBOD			
		発信割り込みを使用	0	しない のする	
		受信割り込みを使用	e	しない ひする	
				· =	
3.フッキンクギ	り定時間の設定	<ホート1の設定>を	ェクリックして、 逓	詰中に着信かる	めると音でお知
		らせしと「フッキング	「判定時間」(時間は任	意)を設定しま ⁻	ਰ ੍
					2 0
3. クリッ	ク 🏲	登録」取消			
		ポート毎の設定			
		回線番号(ダイヤルイン番号)米サ	ナブアドレス	iナンバー	
				ボート ロ1日	12 🗆 3
		接続機器の種類	ナンバーディスプレイ	-	
		保华該定 ▲ 毎1000 年1000 年1	「村応しない」		
		ボート使田設定	○ する きしんい		
		受話音量 送話音量	外線呼出音	内線呼出音	
		標準 🗸 標準 🖌	呼出音1 🔽	呼出音1 ▼	
		なりわけ着信機能	なりわけ呼出音		
		著信拒否する <u>▼</u>	呼出音1 🗾		
		著信機能			登録/即演▲
		グローバル着信	○する	可ない	22.380 AVA
		セレクト着信	C する	00000	
	た選切	通話中に着信があると	► (c t z		
<u>୯</u> . ୮୨ ଚା	で選択	音でお知らせ	633	Jourat '	
		送信機能			登録/取消▲
		発信者番号通知	⊙する	0しない	
		高位レイヤ整合性をつけて発信	○する	⊙しない	
		ダイヤルタイミング			登録/取消▲
		ダイヤル待ち時間	5 秒		
1 1秒(月	音でよい)	フッキング判定時間	▶ 1 秒)	
		著 信転送		-	登録/取消▲
		転送下一半	◎あり	otil	
		転送元トーキ	© あり	0 GL	
		起動タイミング	「「「」」の第二日の第二日の第二日の第二日の第二日の第二日の第二日の第二日の第二日の第二日	740	即、起動 ▼
			Pi LLEX		

<登録>をクリックして、設定ページを閉じます。

※TEL2でも通信中転送を利用する場合は、<ポート2の設定>をクリックして、同様に設定します。

1. フレックスホン機能を利用する~■ 三者通話(つづき)

【電話機の操作】

△ 切り替えモード

- 1.外線(A)との通話中に、TEL1のフックスイッチを1回だけ、短く押します(フッキング)。このとき、[ポート1の設定]画面で設定した「フッキング判定時間」より長く押すと、TEL1と外線(A)との通話が切断されますので、ご注意ください。
- **2.**TEL1の受話器から「プ・プ・・・」と第二発信音が 聞こえ、外線(A)との通話を保留します。
- 3.別の相手である外線(B)の電話番号をダイヤルします。
- 4.外線(B)と通話します。
 - **つながらない場合、TEL1をもう一度フッキ ングして切り替えモードを中止し、外線(A)と の通話に戻ります。また、そのまま受話器を 置くと、TEL1の呼出音が鳴ります。
- 5.外線(B)との通話中に、TEL1をフッキングします。 す。 TEL1の受話器から「プ・プ・・・」と第二発信音が 聞こえ、外線(B)との通話が保留状態になります。
- 6.さらにTEL1をフッキングします。 外線(A)との通話が再開されます。 以後、フッキングするたびに、保留(第二発信音 が聞こえる)状態をはさんで、外線(A)/(B)を交 互に切り替えます。
- 7.通話が終了したら、TEL1の受話器を戻します。
 外線(A)または外線(B)との通話が終了します。
 ※保留中の相手がいる場合は、TEL1の呼出音が「トゥルルレ・・・」と鳴ります。
 受話器を取ることで、保留中の外線と通話が 再開されます。
 - ※保留中の外線がある場合に、通話中の外線が 通話を切断した場合は、TEL1の受話器から 「プー・・・」と話し中音が聞こえます。TEL1を フッキングすると、保留中の外線との通話が 再開されます。



1. フレックスホン機能を利用する~■ 三者通話(つづき)

国ミキシングモード

- 「A 切り替えモード」の手順1~5と同じ操作を します。
 通話中の外線(A)と外線(B)が保留状態になりま す。
- 2.TEL1から「#」「9」「3」をダイヤルします。
 約1秒後、ミキシングモードに切り替わり、保留状態にある外線(A)、(B)の両方と通話(三者通話)できます。



3.通話が終わったら、「A 切り替えモード」の手順 7と同じ操作をします。

※外線(A)または外線(B)との通話が終了します。 このとき、もう一方の外線が受話器を戻さな い場合、TEL1の呼出音が「トゥルル・・・」と鳴 ります。

受話器を取ることで、その外線との通話が再 開されます。

1. フレックスホン機能を利用する(つづき)

■ 着信転送

【条件】

外線(A)からの通信をTEL1で着 信し、呼出音が4回鳴っても応答 がない場合、外線(B)(回線契約 者番号:9876543210)に転 送する。

			(2) ^{Ring} [№] _{Ring} [№]
R	外線(A)	TEL1	
			All boos
Bar			
	①TEL1を呼び出		
/	③外線(B)へ転送		
	\mathbf{Z}		
		Č	
	38		All Base
E DIDIDI	外線(B) 9876543210	TEL	24

- 注意!:フレックスホン機能を「疑似」に設定する場合で、一方のアナ ログ機器が通話中、または本製品に接続されたパソコンが通 信中のときは、着信転送は利用できません。 本設定例の場合、フレックスホン機能の設定が、「疑似」、 「NTTとの契約による」に関係なく、外線(B)への通話料金は、 本製品側に課金されます。
- 【手順】 1.設定ページを開く WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバー に指定します。 ※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。 🚈 LD-WL11/RT設定ページ - Microsoft Internet Explorer

1.

を指定

- ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) **②** 検索 <u>。</u> お気に入り 4 ി - \otimes - 🔐 · 中止 戻る 進む 更新 http://192.168.1.1/ アドレス 🕑 🛃 http://192.168.1.1/ Laneed **Fir @Hawk** ISDN Wireless Router 現在の接続状況を表示しています。回 接続先の追加により最大20個の接続 LD-WL11/RT Ver. 0.71 本体の時 Copyright 2001 ELECOM Co.,Ltd 🗹 回線と接続 チャネ<u>ル</u> 全切断
- 11

履

1. フレックスホン機能を利用する~■着信転送(つづき)

2.着信転送を設定

<アナログ設定>メニューをクリックして、「着信転送」を「する」に設定します。

3. クリック	▶ 登録 取消			
	内線通話			
	内線通話の使用設定	こ 内線転送を使用	用する ▼	
	フレックスホンの	設定 登録/取消▲		
	(注意)NTTフレックスス	ホンをご 使用になる 場合はNTTとの 契約な	が必要です。	
1. いずれかを選択	フレックスホン機能	━━━━ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	ONTTとの契約による)	
	コールウェイティン	グ のしない のする	擬似にてコールウ	フェイティングを
	通信中転送	⊙しない ○する	するにした場合は ポート毎の設定で	
		000 ota	通話中に着信ある	。 ると音でお知らせが
2. 「する」を選択	着信転送	<u>೧</u> 0 ಕನ		.9.
	優先着信	登錄/取消 <u>▲</u>		
	優先着信	すべてのポートに着信 💌	時間差優先着信:	が
	時間差優先着信	02 秒	01200時は優元7 着信します。	5-1000
	リソースBOD			
	発信割り込みを使用]	⊙しない ○する	
	受信割り込みを使用	3	のしない のする	
3.着信転送の設定	<ポート1の	設定>をクリックして	、「記動タイミン	/グ の「呼出回数 を
	4回、 呼西1	友起期」に改正しま9。)	
3. クリック	▶ 登録 取消	псшытт	е пашні	nr ena
	ポート毎の設定			
	回線番号(ダイヤル-	イン番号)*サブアドレス	けンバ・	-
			ポート	
	接続機器の種類	ナンハーティス		
	爆竿設定 <u>」</u> 毎100 新美信			
	ボート使用設定	2 9 3 8 0 4		
	受話音量	送話音量 外線呼出音	」 内線呼出	七音
	標準▼	標準	呼出音1	
	なりわけ着信機能	なりわけ呼出i	音	
	着信拒否する 💌	呼出音1 👤		
	差/走播出			登録 /取は▲
	7日1日103日ビ グローバル、美信		のする ()プロ	보 1877 적자 위프
	オレクト着信		043 0Lti	
	通話中に着信がある	5と		
	音でお知らせ	_	095 OU74N	
	送信機能			登録/取消▲
	発信者番号通知		のする ひしない	
	高位レイヤ整合性を	つけて発信	○する ⊙しない	
	ダイセルタイミン	バ		登録/取消▲
	ダイヤル結ち時間		5 秒	
	フッキング判定時間		1 取り	
	フジョンフェルと呼回		P19	76.63 (275.54)
	着信転送			登録/取消▲
2. 「呼出後起動」を選択	転送トーキ		○あり ○なし	
	転送元トーキ			
1. 「4」を入力	記動タイミング			(即、起動)」

1. フレックスホン機能を利用する~■ 着信転送(つづき)

4.転送先電話番号の設定

г

<転送/短縮番号設定>ボタンをクリックして、アナログポート1の 「転送先電話番号1」に転送先情報を入力します。

3.	2092		1 W Hawk		
				着信転送番号の登	録
		_	(注意)サブアドレ	ス、 転送先電話番号2の設定は 転送先名	昼似設定時のみ 機能します。 雷託 本 −
1.	転送先の名称・名前		転送先電話番号1		9876543210
	を入力(任意)	ボート1	転送先電話番号2	転送先名	
2	[99765/3210]b	マナログ	転送先電話番号1	転送先名	電話畨号
<u> </u>	1907004021012	ボート2	キンソナ両キゴエロ。	■ 転送先名	電話番号
	人刀]	転达尤電話番号2		
		短	縮ダイヤルの登録	登錄/取消▲	
		Ж10	名前	ブリダイヤル	電話番号
		*11	名前	ブリダイヤル	電話番号
		ж12	名前	ブリダイヤル	電話番号
		ж13	名前	ブリダイヤル	電話番号
		*14	名前	ブリダイヤル	電話番号
		Ж15	名前	ブリダイヤル	電話番号
		Ж16	名前	フリダイヤル	電話番号
		*17	名前	ブリダイヤル	電話番号
		*18	名前	ブリダイヤル	電話番号
		Ж19	名前	ブリダイヤル	電話番号
		¥20	名前	ブリダイヤル	電話番号
		*21	名前	ブリダイヤル	電話番号
		*22	名前	ブリダイヤル	電話番号
		*23	名前		電話番号
		×24	名前		電話番号
		×25	名前	ブリダイヤル	電話番号
		×26	名前		
		×27	名前		
		×28	名前		電話番号
		ж29	名前	フリタイヤル	電詁畨号

<登録>をクリックして、設定ページを閉じます。

※TEL2でも通信中転送を利用する場合は、<ポート2の設定>をクリ ックして、手順3と同様に設定したのち、アナログポート2の「転送 先電話番号1」に転送先情報を入力します。

2. 優先着信

外線通信着信時に、[TEL1]、[TEL2]ポートに接続したアナログ機器 のどちらか一方に優先して着信させ、一定時間、応答しないともう一 方にも着信させることができる機能です。

【条件】

外線通信をTEL1で優先着信さ せ、10秒間応答しない場合、 TEL2にも着信させます。



【手順】 1.設定ページを開く

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバー に指定します。

※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。



2. 優先着信(つづき)

2.優先着信を設定

<アナログ設定>メニューをクリックして、「優先着信」を「ポート1を 優先」に、「時間差優先着信」を「10秒」に設定します。

З.	クリック	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		
		内線通話		
		内線通話の使用設定	内線転送を使用する 💌	
		フレックスホンの設定	登録/取消▲	
		(注意)NTTフレックスホンをご使用	利になる場合はNTTとの契約が必要です	す。
		フレックスホン機能	◎疑似 ONT	Tとの契約による
		コールウェイティング	のしない のする	擬似にてコールウェイティングを
		通信中転送	のしない のする	するにした場合は
		三者通話	のしない のする	ボート母の設定で 通話中に着信あると音でお知らせが
1.	「ポート1を優先」を	着信転送	のしない のする	するに設定されます。
	選択	優先看信 - 2課/1	2法▲	
		優先着信	ポート1を優先 💌	時間差優先著信が
2.	「10秒」を設定	時間差優先着信	► 10秒	0秒の時は優先ホートのみ 著信します。
L		リソースBOD		
		発信割り込みを使用		のしない のする
		受信割り込みを使用		のしない のする

<登録>をクリックして、設定ページを閉じます。

3. アナログ機器を鳴り分ける

ー般のアナログ回線では、一つの契約回線に複数の端末機器(電話、 FAXなど)が接続されている場合、全端末機器が同時に外部からの通 信を着信します。これに対して、INSネット64は、NTTが提供する 以下のサービスを契約するか、サブアドレスの設定や、セレクト着信 機能の利用などにより、発信者が各端末機器を個別に鳴り分け・着信 させることが可能になります。

NTTが提供するサービス(有料)

- ●ダイヤルインサービス
- i・ナンバーサービス
- ●なりわけ着信

■ ダイヤルインサービスの利用

ダイヤルインサービスは、NTTとの契約により回線契約番号(代表電 話番号)とは別に、各端末機器に個別の電話番号(ダイヤルイン番号)を 割り当て、端末ごとに鳴り分け・着信させるサービスです。 ダイヤルインサービスには、グローバル着信機能(回線契約番号にか かってきた通信を、ダイヤルイン番号を割り当てた端末で着信する機 能)が含まれます。(契約時に選択:「グローバル着信する」で契約する ことをおすすめします) ご契約されている回線の接続方式(P-MP、P-P接続)によって異なり

ご契約されている回線の接続力式(P-MP、P-P接続)にようて異なり ますが、ダイヤルインサービスでは、回線契約番号を含めて、最大 1,000個までの電話番号を取得することができます。

【条件】

●契約内容

- グローバル着信: 「する」 ●本体設定
- 回線契約番号(代表番号:012 3456788): TEL1 ダイヤルイン番号(012345 6789): TEL2 グローバル着信: 「する」



3. アナログ機器を鳴り分ける~■ ダイヤルインサービスの利用(つづき)

【手順】

1.設定ページを開く	WWWブラ	ラウザを起動して、	[http://	192.168	8.1.1」を	アドレス	バー
	に指定しま	ます。					
	※本製品の	DIPアドレスは、出	出荷時の設	定(192.1	68.1.1)とします	•
	🚰 LD-WL11/	RT設定ページ - Microsoft	t Internet Expl	orer			
] ファイル(<u>E</u>)	編集(E) 表示(⊻) お	気に入り(<u>A</u>)	ツール① へ	ルプ(円)		
	「長る」	• • • · ③	 更新		② 検索	<u>**</u> お気に入り	(2) 展開
1. http://192.168.1.1/	<u>]7ドレス∰</u>)	🛃 http://192.168.1.1/					
を指定	Lan	need					
			a :		1.1		
	flic	@Hawk					
	ISDN W	/ireless Router	現	生の接続状	況を表示	しています	⁻. □
	LD-W	L11/RT	接	涜先の追加	により最	大20個の	接続
	Convrigh	Ver. 0.71 + 2001 ELECOM	Fii	- (@	Hc	本体の	DIEE:
	Co.,Ltd					1 11.4	2-9.
	🖌 回線	まと接続			チャネル	, 全切断	
	口本体	認定と管理		\sim	接続比		
							~
2.ダイヤルイン番号の登録	<回線設2	定>をクリックし	て、「電	話番号」(こダイヤ	ヮルインネ	番号
	[01234	56789」を入力し	ます。				
2. クリック	歌	して再起動	起動後に有効になり				
	回線設定						
		 ● ISDNダイヤルアップ ● TL w*/ISDN 	ノーン+ 立				
	回線種別	〇専用線(64kbps)	へこ注息 回線種別 再記動力	,∕ を変更した場合、 ○必要です			
		0 専用緑(128kbps) 0 OCNエコノミー					
1. [0123456789]を	ISDN着信識	別番号設定	_				
λ <u></u> カ	電話番号 サブアドレス	0123456789	 この項目は 使用する場 なお、契約 	、ダイヤルイン著信や 合に記載します。 回線番号を記載すると	ゥサブアドレス 着イ ニ 着信しなくなりま	#を :す。	

※<登録して再起動>をクリックすると、約10秒後に[接続状況]画面 を表示します。

3. アナログ機器を鳴り分ける~■ ダイヤルインサービスの利用(つづき)

3.TEL1ポートの設定

<アナログ>メニューの<ポート1の設定>をクリックして、「電話番号 (ダイヤルイン番号)*サブアドレス」に回線契約番号「012345678 8」を入力し、「グローバル着信」を「する」に設定します。

3. クリック 🏴	2 登録 _ 取消	
	ポート毎の設定	
	<u>_回線番号(ダイヤルイン番号)*サ</u> ブアドレス	けンバー
1. [0123456788]を >	0123456789	ポート □1 □2 □3
<u>λ</u> ,	接続機器の種類 ナンバーディスプレイ	-
705		
	ボート使用設定	
	受話音量 送話音量 外線呼出音	内線呼出音
	標準 ▼ 標準 ▼ 呼出音1 ▼	呼出音1 💌
	なりわけ着信機能なりわけ呼出音	
	著信拒否する _ 呼出音1 _	
	着信機能	登録/取消▲
2.「する (確認)		outain
	セレクト着信のする	oltan
	通話中に着信があると 音でお知らせ ・ する	00/20
	通話中に着信があると 音でお知らせ 送 信 捧託	 ○しばい 登録/取消▲
	通話中に着信があると 音でお知らせ 送信機能 発信者番号通知 のする	- Cしばい 登録/取消 <u>▲</u> - Cしばい
	通話中に着信があると 音でお知らせ <mark>送信機能</mark> 発信者番号通知 高内U/か整合性をつけて発信 のする	- Cしばい 登録/取消▲ - Cしばい - Cしばい

4.TEL2ポートの設定

<ポート2の設定>をクリックして、「電話番号(ダイヤルイン番号)*サ ブアドレス」にダイヤルイン番号「0123456789」を入力し、「グロ ーバル着信」を「する」に設定します。

З.	クリック	┣ (登録」取消		I CI I	
		-	ポート毎の設定			
	[0] 00 4E 0 700 +	7. /	回線番号(ダイヤルイン番号)米サブアト	ゼス		けンバー
1.	0123456789]を	(0123456789			
	入力		接続機器の種類 標準設定 ▼	ナンハーティスフレイ 対応しない	•	
L		-		のする のしない	_	
			ポート使用設定	発着信で使用 💌		
			受話音量 送話音量 標準 標準	外線呼出音		内線呼出音
			なりわけ着信機能	なりわけ呼出音		
			着信拒否する 💌	呼出音1 ▼		
			着信機能			登録/取消▲
2	「する」を選択	1	グローバル着信	⊳ ⊙ † 3	Duta	.)
<u> </u>		1	セレクト着信	০়বু	0U731	,)
			通話中に着信があると 音でお知らせ	◎する	っしない	<i>,</i>
			送信機能			登録/取消▲
			発信者番号通知	⊙する	०८७३।	,)
			高位レイヤ整合性をつけて発信	0 ta	et ti	\rightarrow
				\sim	\frown	

※<登録>ボタンをクリックしたあと、設定ページを閉じます。

- 3. 鳴り分け機能を利用する(つづき)
- i・ナンバーサービスの利用

i・ナンバーサービスは、NTTとの契約により回線契約番号(代表電話 番号)とは別に、各端末機器に個別の電話番号(i・ナンバー)を割り当て、 端末ごとに鳴り分け・着信させるサービスです。 i・ナンバーサービスは、ダイヤルインサービスと違って、回線契約番 号にかかってきた通信を、i・ナンバーを割り当てた端末で着信させる には、本製品での設定が必要です。 i・ナンバーサービスでは、回線契約番号を含めて、最大3個まで電話

番号を取得することができます。



3. アナログ機器を鳴り分ける~■ iナンバーサービスの利用(つづき)

2.TEL1ポートの設定

<アナログ>メニューの<ポート1の設定>をクリックして、「i・ナンバ ーポート」の「1」をクリックし、チェックマークを付けます。

2.	クリック	►(登録 取消						
			ポート毎の設定						
<u> </u>		1	回線番号(ダイヤル	イン番号)*サブアドl	ス			けンバー	
.	「「ほぞうりック					- 1. <i>/</i>			
	(✔が表示される)		按統版 →		テノハーティス。 対応しない	///1	•		
			無鳴動着信		○する ⊙しない	л.			
			ボート使用設定		発着信で使用 💌				
			受話音量	送話音量	外線呼出音			内線呼出音	
			1999 二 たいわけ美信機能	偏华 💌	たいわけ呼出者				
			着信拒否する]	呼出音1 👤				
			着信機能						登録/取消▲
			グローバル着信			⊙する	0しな(ر ۱	
			セレクト着信			○する	⊙しない	ر ۱	
			通話中に着信があ 音でお知らせ	<u> </u>		⊙する	007व	, ì	
			送信機能						登録/取消🔺
			発信者番号通知			⊙する	0しない	ر ^۱	
			高位レイヤ整合性な	をつけて発信		0する	ાર્ટમા	, ۱	
			ダイヤルタイミン	ヷ					登録/取消▲
			ダイヤル待ち時間	\frown	\frown	5 秒			\sim
			\sim	\sim	\sim		\sim	\sim	\sim

3.TEL2ポートの設定

<ポート2の設定>をクリックして、さらに「i・ナンバーポート」の「1」 と「2」をクリックし、チェックマークを付けます。

2. クリック		
	ポート毎の設定	
	回線番号(ダイヤルイン番号)※サブアドレス けンバー はたい。	
	持続機関の種類 ナンバーディスプレイ	
(✔か表示される)	【 標準設定 ▼ 対応しない ▼	
	ー 無鳴動着信 のする のしない	
	ボート使用設定 発着信で使用 エ	
	受話音量 送話音量 外線呼出音 内線呼出音 標準 ▼ 標準 ▼ 呼出音1 ▼ 呼出音1 ▼	3
	なりわけ着信機能なりわけ呼出音	
	著信拒否する 呼出音1	
	着信機能	登録/取浦▲
	グローバル着信 のする Oしない	
	セレクト着信 のする のしない	
	通話中に着信があると 音でお知らせ のする Cしない	
	送信機能	登録/取消▲
	発信者番号通知 のする Oしない	
	高位レイヤ整合性をつけて発信 0する のしない	
	ダイヤルタイミング	登録/取消▲
	ダイヤル待ち時間	\frown

※<登録>ボタンをクリックしたあと、設定ページを閉じます。

- 3. 鳴り分け機能を利用する(つづき)
- なりわけ着信サービスの利用

なりわけ着信サービスは、NTTに登録した電話番号からの通信に対し て、端末機器への着信形態を指定できるようにするサービスです。 このサービスを利用するには、NTTとの契約(有料)が必要です。



●登録電話番号: 9876543210(外線(B))

- TEL1設定
 外線(B)からの通信:
 話し中でも、音で知らせる
 なりわけ呼出音:「呼出音3」
 TEL2設定
- 外線(B)からの通信: 話し中は着信しない なりわけ呼出音: 「呼出音3」



【手順】

1.設定ページを開く

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバー に指定します。

※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。



3. アナログ機器を鳴り分ける~■ なりわけ着信サービスの利用(つづき)

2.TEL1ポートの設定

<アナログ>メニューの<ポート1の設定>をクリックして、「なりわけ 着信機能」を「通常・話中共に着信」に、「なりわけ呼出音」を「呼出音3」 に設定します。

З.	クリック	┣►(登録取消していての				
		-	ポート毎の設定 回線番号(ダイヤルイン番号)*	サブアドレス		けンバー	
			接続機器の種類 標準設定▼	ナンバーディスプレイ 対応しない	×	# <u>-</u> ⊦ □1□2	2 🗆 3
			無鳴動着信 ボート使用設定	 ○ する ○しない 発着信で使用 ▼ 			
1.	[▼]をクリックして、	1	受話音量 送話音量 標準 ▼ 標準 ▼	外線呼出音 呼出音1 ☑		内線呼出音 呼出音1 ▼	
	「通常・話中共に着信」	-(なりわけ着信機能 通常・話中共に着信 ▼	7201711年出音			
	を選択		着信機能				診録/取消▲
2.	[▼]をクリックして、	i_	グローバル着信 ビレクト着信	© কুর ০ কুর	5 OUTAI 5 OUTAI	د. د.	
2.	[▼]をクリックして、 「呼出音3」を選択	-	グローバル着信 セレクト着信 通話中に着信があると 音でお知らせ	० इट ० इट ० इट	5 0Utal 5 0Utal 5 0Utal	,, ,, ,,	
2.	[▼]をクリックして、 「呼出音3」を選択	-	クローン11着信 セレクト着信 通話中に着信があると 音でお知らせ 送信機能	० इट ८ इट ० इट	5 OLTA 5 OLTA 5 OLTA	,) ,) इ	登録/取消▲
2.	[▼]をクリックして、 「呼出音3」を選択	-	クローバル着信 セレクト着信 通話中に着信があると 音でお知らせ 送信機能 発信者番号通知 また、(したの)サエマ(レアス)(् इन्द्र त ज् ् ज् ् ज् र	5 00731 5 00731 5 00731	,) ,) 2	
2.	[▼]をクリックして、 「呼出音3」を選択	<u> </u>	クローバル著信 セレクト着信 通話中に着信があると 音でお知らせ 送信機能 発信者番号通知 高位レイヤ整合性をつけて発信	ে इन्ट ्रिय ् त्र ् ि इन्ट ्र	5 01731 5 01731 5 01731 5 01731 5 01731	,) ,) ,) ,) ,)	2禄/取消▲
2.	[▼]をクリックして、 「呼出音3」を選択	-	クローバル著信 セレクト着信 通話中に着信があると 音でお知らせ 送信機能 発信者番号通知 高位レイヤ整合性をつけて発信 ダイヤルタイミング	ে इन्ट ्रि ट इन्ट ट इन्ट र इन्ट	5 00731 5 00731 5 00731 5 00731 5 00731		2錄/取消 <u>▲</u> 2發/取消 <u>▲</u>
2.	[▼]をクリックして、 「呼出音3」を選択]-	クローバル著信 セレクト着信 通話中に着信があると 音で訪れのらせ 送信機能 発信者番号通知 高位レイヤ整合性をつけて発信 ダイヤルタち時間	。する つする でする でする し する し し する し する し する し する し する し する し する し する し する し する し する し する し する し する し する し する し する し する し う する し う する し う する し う する し う する し う する し う する し う する し う する し う する し う する し う う し う う し う う し う う う う う う う し う う う し う う う う う う う う う う う う う	5 01/31 5 01/31 5 01/31 5 01/31 5 01/31		2錄/取消 <u>▲</u> 2發/取消 <u>▲</u>

3.TEL2ポートの設定

<ポート2の設定>をクリックして、「なりわけ着信機能」を「話中は着信しない」に、「なりわけ呼出音」を「呼出音3」に設定します。

З.	クリック)≁(登録 取消					
			ポート毎の設定					
			回線番号(ダイヤルイン番	号)*サブアドし	/ス		けンバー	
							#−ト □1	□2 □3
			接続機器の種類 標準設定 ▼		ナンハーティスフ 対応しない	ルイ		
			無鳴動着信		೦ ತನ ೦ ರಿಸು	۱		
			ボート使用設定		発着信で使用 💌			
		-	受話音量 送話	音量	外線呼出音		内線呼出音	
1.	[▼]をクリックして、		標準 <u> </u> 標準		呼出音1 ▼ オンは-マーFFFにしま		呼出音1 🗾	
	「手巾け差信」たい」を		「ほりわけ有信機能		/ふりわい呼出音			
	選択		着信機能					登録/取消▲
		-	グローバル着信			のする ひした	ມີເ	
12.	[▼]をクリックして、		セレクト着信			○する ⊙した	<i>ລ</i> ີເ າ	
	「呼出音3」を選択		通話中に着信があると 音でお知らせ		1	のする へした	Ĵl)	
			送信機能					登録/取消 <u>▲</u>
			発信者番号通知			⊙する ○した	il i	
			高位レイヤ整合性をつけ	て発信		○する ⊙した	<i>ີ</i> ມປ	
			ダイヤルタイミング					登録/取消▲
			ダイヤル待ち時間	~		5 秒	>	\sim
			\sim	\sim	\sim		\sim	\sim

※<登録>ボタンをクリックしたあと、設定ページを閉じます。

3. 鳴り分け機能を利用する(つづき)

回線契約番号(代表番号):

■ サブアドレスの利用

【条件】

本体設定

0123456788

●サブアドレス

TEL1:101

TEL2:なし

NTTとの契約は不要で、各端末機器に個別のサブアドレスを割り当て、 通信の発信者が契約電話番号とともにサブアドレスをダイヤルするこ とで、端末ごとに鳴り分け・着信させることが可能になります。 ただし、サブアドレスによる鳴り分け・着信は、ISDN回線契約者か らサブアドレスを付加してダイヤルされた発信に限り、鳴り分け・着 信できますが、サブアドレスをダイヤルしない、またはアナログ回線 契約者からの発信では、まったく着信できません。

③^{Ring}か Ring ^か Ring 💆 TEL 1 Ring ^か 外線(A) サブアドレス :101 (3)「*101」を付加し ダイヤルされた 場合のみ呼び出し (1)回線契約番号(0123456788) のみで呼び出し ISDN 公衆電話回線 (4) Ring № (2)回線契約番号(0123456788 Ring [₯] +[*101]で呼び出し Ring № Ring ^か (4)回線契約番号のみ ダイヤルされた 場合のみ呼び出し TEL 2 外線(B) サブアドレス :なし

【手順】

1.設定ページを開く

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバー に指定します。

※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。



3. 鳴り分け機能を利用する~■ サブダイヤルを利用する(つづき)

2.TEL1ポートの設定

<アナログ>メニューの<ポート1の設定>をクリックして、「電話番号 (ダイヤルイン番号)*サブアドレス」に回線契約番号「012345678 8」に続けて「*(アスタリスク)」とサブアドレス「101」を入力します。

2.	クリック	▶(нпіс	шпа	шнгт і	r w nat
		-	ポート毎の設定				
	[0100450300 ·	7. ~	回線番号(ダイヤルイン番号)米サ	ブアドレス		けンバー	
1.	10123456788*		012345678*101			ボート ロ1	□2 □3
	1011と入力		接続機器の種類	ナンバーディス	ブレイ		
	10110707	1	「「「「」」「「」」「」」		1.5		
			ボート使用設定				
			受託辛量 洋託辛量	発着信(CC用) 秋線 平出音	1	内線呼出音	
				呼出音1 ▼		呼出音1 ▼	
			なりわけ着信機能		5		
			着信拒否する	呼出音3 💌			
			× 1= 100 AV				
			有信機能				登録/取消▲
					○ 9 5 CU/4 ○ する ○ CU/4	() 1.	
			ビレント宿信		095 0しん	ι, ·	
			通話中に有信があるこ 音でお知らせ		⊙する oしな	い	
			送信機能				登録/取消▲
			発信者番号通知		⊙する ೧しな	່ເບ	
			高位レイヤ整合性をつけて発信		೦する ೦しな	່ເບ	
			ダイヤルタイミング				登録/取消▲
			ダイヤル待ち時間		5 秒		
			フッキング判定時間		1 秒		
			着信転送				登録/取消▲
			転送トーキ		⊙あり ○なし		
			転送元トーキ		⊙あり ○なし		
			起動タイミング		呼出回数 🛛 4		即、起動

※<登録>ボタンをクリックしたあと、設定ページを閉じます。

3. 鳴り分け機能を利用する(つづき)

■ セレクト着信の利用

セレクト着信機能とは、ISDN回線網より通知された発信者(電話)番 号と、登録した電話番号が一致した場合に、TEL1、TEL2ポートに 接続されたアナログ機器の着信形態を指定する機能です。 着信形態には、ポート指定、優先、着信拒否、および指定無しの中か ら選択でき、最大20件の電話番号に対して指定できます。 なお、アナログ回線網からの発信者(電話)番号通知には、別途、INS ナンバー・ディスプレーの契約(有料)が必要です。

【条件】

- TEL1、TEL2の電話番号:
 0123456789(回線契約者 番号のみ:ダイヤルイン、i・ナ ンバー契約無し、サブアドレ ス未使用)
- ①発信者番号、9876543210
 からの通信は、TEL1のみに着
 信させ、着信音2を使用
- ②発信者番号、9876543211
 からの通信は、TEL2を10秒
 間優先して着信させ、着信音3
 を使用
- ③発信者番号、9876543212からの通信は着信を拒否

Ringが Ringが 外線(A) Ring 💯 9876543210 Ring № TEL1 0123456789へ発信 外線(A)からの 通信はTEL1の みに着信 外線(B) 外線(A)、外線(B) 9876543211 からの発信 ISDN 公衆電話回線 ′u,<mark>×</mark>∕u) 外線(B)からの 「デーオエレッタター」 外線(C)から Ring № の通信は Ring [₯] 外線(C) 着信を拒否 Ring ≫ 98765432 Ring ^か 通信はTEL2を 優先して着信 TEL2

【手順】

1.設定ページを開く

WWWブラウザを起動して、「http://192.168.1.1」をアドレスバー に指定します。

※本製品のIPアドレスは、出荷時の設定(192.168.1.1)とします。



3.鳴り分け機能を利用する~■ セレクト着信の利用(つづき)

2.優先時間の設定

<アナログ>メニューをクリックして、「時間差優先着信」を10秒に設定します。

2.	クリック 🏓			
		内線通話		
		内線通話の使用設定	内線転送を使用す	a 💌
		フレックスホンの設定	登録/取消▲	
		(注意)NTTフレックスホンをご使用にな	aる場合はNTTとの契約が必	と要です。
		フレックスホン機能	◎ 疑似	C NTTとの契約による
		コールウェイティング	のしない のする	擬似にてコールウェイティングを
		通信中転送	のしない のする	するにした場合は
		三者通話	のしない のする	通話中に着信あると音でお知らせが
		着信転送	のしない のする	するに設定されます。
		優先着信	すべてのポートに著信 💌	時間差優先着信が
11.	「10秒」を入力(任意) ト	➡ 時間差優先着信 ►	10秒)	のものでは優先ホートのみ 著信します。
L		リソースBOD		
		発信割り込みを使用		Oしない 0する
		受信割り込みを使用		⊙しない つする

3.TEL1ポートの設定

<ポート1の設定>をクリックして、「セレクト着信」を「する」に設定します。

2.	クリック ►		nır ena	usnir enal
		ポート毎の設定		
		回線番号(ダイヤルイン番号)米サブアド	レス	けンバー
				ポート □1 □2 □3
		接続機器の種類 標準設定 👤	ナンバーディスプレイ 対応しない	
		無鳴動着信	○する ⊙しない	
		ボート使用設定	発着信で使用▼	
		受話音量 送話音量 標準 ▼ 標準 ▼	外線呼出音 呼出音1	内線呼出音 呼出音1 ▼
		なりわけ着信機能 着信拒否する	なりわけ呼出音 呼出音1 💌	
		着信機能		登録/取消▲
—		グローバル着信		il)
1.	する」を選択 ──	セレクト着信		il)
		通話中に着信があると 音でお知らせ	⊙する ⊂した	a)
		送信機能		登録/取消▲
		発信者番号通知	⊙する ○した	il v
		高位レイヤ整合性をつけて発信	○する ⊙した	il)
		ダイヤルタイミング		登録/取消▲
		ダイヤル待ち時間	5 秒	
		フッキング判定時間	1 秒	
		着信転送		登録/取消▲
		転送トーキ	⊙あり ○なし	
		転送元トーキ	⊙あり ○なし	
		起動タイミング	呼出回数 4	□ 即、起動 ▼

3.鳴り分け機能を利用する~■ セレクト着信の利用(つづき)

4.TEL2ポートの設定

<ポート2の設定>をクリックして、「セレクト着信」を「する」に設定します。

2.	クリック 🗕 🗕	登録」取消					
		ポート毎の設定					
		回線番号(ダイヤル・	イン番号)*サブアド[レス		iナンバー	
						ポート □1	□2 □3
		接続機器の種類 標準設定 💌		ナンバーディス ⁻ 対応しない	プレイ		
		無鳴動着信		oする のしない	, ۱		
		ポート使用設定		発着信で使用 💌			
		受話音量	送話音量	外線呼出音		内線呼出音	
		[標準 ▲	標準 🗾	呼出音1 ▼		呼出音1 ▼	
		なりわけ者信機能	ſ	なりわけ呼出音			
		右15把出9る ▲					
		着信機能					登録/取消▲
		グローバル着信			⊙する_ ○しな	ຟັງ	
11.	「する」を選択 ―	セレクト着信		→ (⊙する)₀した	ຟັງ	
•		通話中に着信がある 音でお知らせ	38		⊙する ○しだ	il v	
		送信機能					登録/取消▲
		発信者番号通知			⊙する ○しだ	ຟັງ	
		亭位レイヤ整合性な	コリナズ発信	\frown	0 73 01 2	× _	\sim
		\sim	\sim	\sim		\sim	\sim

5.電話番号・着信形態の登録

<セレクト番号>をクリックして、登録番号(登録01~20)ごとに「相 手先名」「電話番号」「着信ポート&着信動作」「着信音」を設定します。

①外線(A)の登録

		登	録取消						
						セレ	か着	信	
1.	「外線(A)」(任意)	<u></u>	₩►	相手先名 外線(A)) (電話番号 9876543210) (看信ボート&看信動作 ポート1のみに着信する ▼	看信呼出音 呼出音2 ▼
2.	「9876543210」を	登録	録02	相手先名		電話番号		着信ボート&着信動作 両ボートに着信する	着信呼出音 呼出音1 💌
	入力	登録	録03	相手先名		電話 番号		着信ポート&着信動作 「両ポートに着信する 」	着信呼出音 呼出音1 ▼
З.	「ポート1のみに着信す	89	i≹0 4	相手先名		電話番号		着信ボート&着信動作 「両ボートに着信する	着信呼出音 呼出音1 ▼
	る」を選択	登録	録05	相手先名		電話番号		着信ボート&着信動作 両ボートに着信する 💌	着信呼出音 呼出音1 ▼
4.	「呼出音2」を選択	登録	録06	相手先名		電話番号		着信ポート&着信動作 両ポートに着信する ▼	着信呼出音 呼出音1 ▼
		登録	録07	相手先名		電話番号		着信ボート&着信動作 両ポートに着信する ▼	着信呼出音 呼出音1 ▼
		登録	録08	相手先名		電話番号		着信ポート&着信動作 「両ポートに着信する ▼	着信呼出音 呼出音1 ▼
			\geq	相手生	\sim	雷拉	_	美信動作	学行呼出会

3.鳴り分け機能を利用する~■ セレクト着信の利用(つづき)

②外線(B)の登録

		登録	取消			
				セレ	外着信	
		登録	01 相手先名 外線(A)	電話番号 9876543210	着信ボート&着信動作 ポート1のみに着信する ▼	着信呼出音 呼出音2 ▼
1.	「外線(B)」(任意)	8 97	► 相手先名 外線(B)	電話番号 9876543211	着信ポート&着信動作 ポート2を優先して着信 ▼	着信呼出音
2.	「9876543211」を	登録	103 相手先名	電話番号	着信ボート&着信動作 両ポートに着信する	着信呼出音 呼出音1 ▼
	<u> </u>	登録	04 相手先名		着信ポート&着信動作 両ポートに着信する ▼	着信呼出音 呼出音1 ▼
З.	「ポート2を優先して着		05 相手先名	電話番号	着信ボート&着信動作 両ポートに着信する ▼	着信呼出音 呼出音1 ▼
	信」を選択	登録	06 相手先名	電話番号	着信ボート&着信動作 両ポートに着信する ়	着信呼出音 呼出音1 ▼
4.	「呼出音3」を選択	登録	_{:07} 相手先名	電話番号 	着信ボート&着信動作 両ポートに差信する ▼	着信呼出音 呼出音1 🔽
		登録	108 相手先名	電話番号	着信ボート&着信動作 両ポートに着信する ▼	着信呼出音 呼出音1 ▼
			相手生		美信動佔	く自座出来

③外線(C)の登録

4.	クリック	►				
			セレクト着信			
		登録C	nt 相手先名 外線(A)	電話番号 9876543210	着信ポート&着信動作 ポート1のみに着信する ▼	着信呼出音 呼出音2 ▼
		登録C	12 相手先名 外線(B)	電話番号 9876543211	着信ポート&着信動作 ポート2を優先して着信 💌	着信呼出音 呼出音3 ▼
1.	「外線(C)」(任意)	登録	● 相手先名 外線(C)	電話番号 9876543212	着信ポート&着信動作 両ポートに着信しない ▼	着信呼出音 呼出音1 ▼
2.	「9876543212」を	登録C	4 相手先名	電話番号	着信木~ト&着信動作 両ポートに着信する ▼	着信呼出音 呼出音1 ▼
	እታ	登録C	5 相手先名	電話番号	着信ボート&着信動作 両ポートに着信する 💽	着信呼出音 呼出音1 ▼
3.	「両ポートに着信しな い」を選択	登録	6 相手先名	電話番号	着信ポート&着信動作 「両ポートに着信する 💽	着信呼出音 呼出音1 ▼
		登録C	7 相手先名	電話番号	着信ボート&着信動作 両ポートに着信する 💽	着信呼出音 呼出音1 ▼
		登録0	18 相手先名	電話番号	着信ボート&着信動作 両ポートに着信する	着信呼出音 呼出音1 ▼
		_	+==			

※<登録>ボタンをクリックしたあと、設定ページを閉じます。



I

3

E



取扱説明書 応用編 ^{11Mbps ISDN無線ルータ} ■ LD-WL11/RT

第8部 付属ソフトウェアについて

1.	Quick Connect1
	■ 操作パネル
	■ [Option]ウィンドウ
	■ [接続設定]ウィンドウ4
2.	IP Name ······7

エレコム株式会社

1. Quick Connect(クイックコネクト)

■ 操作パネル

Quick Connectとは、設定ページへアクセスせずに、手動でISDN 回線の接続/切断を操作するためのソフトウェアです。 Quick Connectは、デスクトップ上に常駐させることが可能で、本 製品に登録された接続先(プロバイダーなど)へ簡単に接続できます。 なお、Quick Connectは、「ISDNダイヤルアップ」、「フレッツ・ ISDN」の設定環境でのみ利用できます。

①<1>	回線接続ボタン1です。 ■ [Option]ウィンドウの「④接続ボタン1接続先No」(☞P3)で設定さ れた接続先へ、回線を接続します。
<2>	回線接続ボタン2です。 ■ [Option]ウィンドウの「⑤接続ボタン2接続先No」(☞P3)で設定さ れた接続先へ、回線を接続します。
③<▶> ·····	B1チャネルの回線を切断します。
④接続状況表示	B1チャネルの回線接続状況を表示します。
5<►> ·····	B2チャネルの回線を切断します。
⑥接続状況表示	B2チャネルの回線接続状況を表示します。
<_>>	操作パネル表示を最小化します。
® <x></x>	Quick Connectを終了します。
	なお、Quick Connectから本製 品にアクセスできない場合、操 作パネルが右の表示になります。 このような場合は、パソコンの IPアドレス設定を確認してくだ

さい。

1

1. Quick Connect(クイックコネクト)(つづき)

Quick Connectの操作パネル上で、右クリックすると、次のメニューが表示されます。

	① バージョン情報 𝒴
	 ③ 最小化(N) ④ 常に手前に表示(T) ⑤ ステータス情報更新(S)
	6 接続設定(<u>C</u>) ⑦ 接続先追加(<u>A</u>)
	 ⑧ 接続 ▶ ⑨ 接断
	◎ 常駐終了 (E)
①バージョン情報(⊻)	Quick Connectのバージョン情 報を表示する、右のウィンドウ を開きます。
②オプション(<u>O</u>)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[Option]ウィンドウを開きます。 詳細は、■[Option]ウィンドウ(☞P3)をご覧ください
③最小化(<u>N</u>)	操作パネルを最小化します。
④常に手前に表示(<u>T</u>)	Quick Connect以外のアプリケーションを起動させていても、操作 パネルが常に見えるように表示させます。
⑤ステータス情報更新(<u>S</u>) ········	本製品と通信して、設定ページの設定内容、通信チャネルの接続状況 などの情報を更新します。
⑥接続設定(<u>C</u>)······	[接続設定]ウィンドウを開きます。 Quick Connectから、設定ページに登録されている接続先設定を編 集することができます。 詳細は、■[接続設定]ウィンドウ(☞P4)をご覧ください。
⑦接続先追加(<u>A</u>)	「⑥接続設定(<u>C</u>)」と同様に、[接続設定]ウィンドウを開きます。 Quick Connectから、接続先を追加することができます。 詳細は、■[接続設定]ウィンドウ(☞P4)をご覧ください。
⑧接続	接続ボタン<1>、または<2>に登録された接続先へ回線を接続します。
⑨切断	「B1」、「B2」チャネル、または「B1/B2」チャネルを切断します。
⑩常駐終了(E) ······	Quick Connectを終了します。

1. Quick Connect(クイックコネクト)(つづき)

■ [Option]ウィンドウ

Quick Connectから本製品へアクセスするための設定と、操作パネルの<1>、<2>での接続先を選択します。

0p	ition			×
	LD-WL11/RTのIPアドレス①	192.168.1.1		OK
	ユーザID 2			キャンセル
	パスワード ③			
	接続ボタン1 接続先No ④	01	1B接続	
	接続ボタン2 接続先No 5	02	1B接続	<i>W</i>
	ステータス更新間隔(秒) 6	15		

①LD-WL11/RTのIPアドレス	本製品に設定されたIPアドレスを表示/入力します。
②ユーザID	設定されている管理者、または使用者IDを表示/入力します。
③パスワード	設定されている管理者、または使用者パスワードを表示/入力します。 パスワードは「*(アスタリスク)」で表示します。
④接続ボタン1接続先No	<1>に割り当てられた接続先の登録番号を表示/入力します。
⑤接続ボタン2接続先No	<2>に割り当てられた接続先の登録番号を表示/入力します。
⑥ステータス更新間隔(秒)	Quick Connectが本製品の設定、接続状況などの情報を更新する時間を表示/入力します。 なお、設定する時間は5~60秒のあいだで入力してください。(1~4 秒を入力しても、設定を拒否します。) ※0秒に設定すると、右クリックで表示されるメニューでの手動更新 となります。
⑦通信チャネル	接続先との通信に使われているチャネルを表示します。
1. Quick Connect($p \neq y \neq z \neq b$)($\neg \neg z \neq b$)

■ [接続設定]ウィンドウ

本製品に登録されている接続先を編集、および接続先を追加するとき に表示されるウィンドウです。

なお、このウィンドウに表示される項目は、以下の設定ページ画面で 設定されていますので、それぞれの詳細説明については、該当する画 面の説明をご覧ください。

- ●[接続]画面
- ❷[自動接続]画面

③[自動切断]画面

統設定	x
01 :	
接続先名 1 電話番号1 電話番号2 電話番号3 2 電話番号3 3 ユーザID 3 パスワード 4 認証プロトコル 5 相手に合わせる ▼	 デフォルトGWを構築
「 自動接続する (13 22) 通信速度 (14) 64K可変 ▼	▶ 自動切断する (5) タイマー1 「1(6) タイマー2 ○(1) タイマ2を使用する時間○0:00 - ○0:00 (8)
削除 (19) OK (2)	0 キャンセル 2 道22 月 再取得 23

- ①接続先名 ……………………… 接続する相手先名を入力します。
- ②電話番号1~3……………… 接続先から指定された電話番号を、市外局番から入力します。
- ③ユーザID …………………… 接続先から指定されたユーザーID(ログイン名)を入力します。
- ④パスワード ……………… 接続先から指定されたパスワードを入力します。
- ⑤認証プロトコル ……………… ユーザーIDとパスワードを発信するときの認証方法を選択します。
- ⑥デフォルトGWを構築 ……… この接続先への接続を、LAN環境で発生した宛先不明のパケットを送り出す出口とするかしないかを選択します。
- ⑦コールバック要求 ……………… 相手先に発信したときに、相手先にかけなおしてもらうように(コール バック)要求するかどうかを選択します。

 ⑧コールバック電話番号 ………
 CBCPによるコールバックを要求した場合に、相手先にかけなおして もらう電話番号を入力します。

 ③プライマリDNSサーバ ………
 接続先から指定されたプライマリDNSサーバアドレス、またはDNS サーバアドレスが2つ以上指定されている場合は、どちらか一方を入 力します。
 DNSサーバを使用しない場合は、「0.0.0.0」としておきます。 1. Quick Connect(クイックコネクト)~■[接続設定]ウィンドウ(つづき)

	接続設定	×
	01 :	
	接続先名 1 電話番号1 電話番号2 2 電話番号3 ユーザID 3 バスワード ④ 認証プロトコル ⑤ 相手に合わせる ▼	 デフォルトGWを構築 ⑥ コールバック要求 【⑦ 1
	Г 自動接続する ①3 2 通信速度 ①4 64K可変 ▲	✓ 自動切断する (5) ダイマー1 「(6) ダイマー2 「(7) タイマー2を使用する時間 00:00 「00:00 【8)
	削除 (19) OK	20 キャンセル 21 近222 再取得 23
⑩セカンダリDNSサーバ	接続先から指定されたプライマ! サーバアドレスが2つ以上指定さ 力します。 DNSサーバを使用しない場合は、	JDNSサーバアドレス、またはDNS れている場合は、どちらか一方を入 「0.0.0.0」としておきます。
⑪BODを使用	MP接続に対応している接続先と いて、「⑭通信速度」を「64k可変 いる場合に限り、回線を流れるノ じて自動的にチャネルを増減する	、128kbps(回線速度)の契約をして 」、もしくは「128k可変」に設定して 《ケット量を監視しながら、必要に応 かどうかを選択します。
⑫移行トラフィック量	上記「⑪BODを使用」に"✔"(チェッ 回線を流れるパケット量が、ここ ャネル数(1B→2B、2B→1B)を	ックマーク)がある場合に有効となり、 こで設定する値になれば使用するBチ 自動的に切り替えます。
⑬自動接続する	パソコンが、メールサーバやイン をした場合、自動で回線を接続す	/ターネットなどへアクセスする操作 るかどうかを選択します。
⑭通信速度	Bチャネルを使って、接続先とど	のように通信するかを選択します。
⑮自動切断する	接続中の回線を自動で切断するか るまで切断しないかを選択します	、操作パネル上の<▶>をクリックす - 。
⑥タイマー1	上記「⑮自動切断する」に"✔"(チェ 定する時間、通信がないと自動的	ックマーク)がある場合に、ここで設)に回線を切断します。
①タイマー2 ·····	上記「⑯タイマー1」とは別に、↑ 設定された時間帯で自動的に回線	「記「⑱タイマー2を使用する時間」で きを切断するタイマーです。
18タイマー2を使用する時間	上記「⑰タイマー2」を有効にする	時間帯を設定します。
⑲<削除>	表示している接続先の登録を削除	します。
@<0K>	設定、または編集した内容を本製品に登録してウィンドウを閉じます。	

1. Quick Connect(クイックコネクト)~■[接続設定]ウィンドウ(つづき)

接続先名 ①	▼ デフォルトGWを構築 6
電話番号1	コールバック要求 ド(7) ・
電話番号2 2	コールバック電話番号 8
電話番号3	プライマリDNSサーバ 90.0.0
ユーザID (3)	セカンダリDNSサーバ 100.0.0
パスワード (4)	F BODを使用 ①
認証ブロトコル 5 相手に合わせる 🗾	移行トラフィック量 18->28 75 📑 12 28->18 25 📑
	▼ 自動切断する (15 6)
通信速度 14 64K可変 🗾	\$17-1 116
	317-2 017
	タイマ2を使用する時間 00:00 - 00:00 (18)

②<キャンセル>	設定、または編集した内容を取り消して、ウィンドウを閉じます。 なお、一度<適用>をクリックすると、設定/編集した内容を取り消す ことはできません。
22<適用>	設定、または編集した内容を確定して、本製品に登録します。
23<再取得>	本製品と通信して、本製品に登録されている接続設定内容表示を更新 します。

2. IP Name

本製品の簡易DNSサーバ機能を利用する際、あらかじめパソコンの ホスト名に対応するIPアドレスを登録しておく必要があります。 IP Nameを使うと、このホスト名に対応するIPアドレスを検索する ことができます。また、IPアドレスからホスト名を検索(逆引き)する ことも可能です。

注意!

グローバル環境のホスト名解決には、インターネットへ接続して外部 DNSへ問い合わせを行う必要があります。

よって、ダイヤルアップ接続の場合、自動接続を設定していると、検 索のためにインターネットに自動接続して課金されますので、注意し てください。

🖪 IPName	×	
Піг @Нашк Laneed	Host Name & IP Address 変換ユーティリティ Ver 1.10 Copyright 2001 ELECOM	
Host Name: www.elecom-lanerjcom ⑥ ↓ IP Adc@sslこ変換 ↑ Host N④nelこ変換 IP Address: 161.1.0.100(③ Class B ⑤		
<u></u>		

①Host Name	目的の名前を、「ホスト ます。	名.(ドット)ドメイン名」の書式で入力/表示し (入力/表示例:www.elecom-laneed.com)
② <ip addressに変換=""></ip>	入力したホスト名のIPア	'ドレス検索を開始します。
③IP Address ······	目的のIPアドレスを入力/表示します。(入力/表示例:172.16.2.2)	
④ <host nameに変換=""></host>	入力したIPアドレスのホスト名検索を開始します。	
⑤Class表示 ·······	検索された/検索したIF 一般的に、A~CクラスI	アドレスが所属するクラスを表示します。 こ分けられています。
⑥<中止>	検索中に表示されるボタ 途中で、検索を中止した	'ンです。 :い場合にクリックします。
⑦<閉じる>	IP Nameを終了します。	

Laneed ELECOM

11Mbps ISDN無線ルータ LD-WL11/RT 取扱説明書【応用編】 発行 エレコム株式会社 2001年4月9日 第1版